

# 洞戸地域づくりアンケート

## 結果報告書

洞戸地域委員会準備会

# 洞戸地域づくりアンケート結果

## 1 概要

- 調査目的 私たちが暮らす”洞戸”をいつまでも安心して住み続けられる地域にするため、住民主体による地域づくりを目指しています。  
そこで、地域づくりを進めるためには、まず住民の声をお聞きし、地域の課題を見つけることが重要です。皆さんが日ごろ考えていることやご意見を聞くためにアンケートを行いました。
- 調査主体 洞戸地域委員会準備会（事務局：ほらどまちづくり委員会）
- 調査期間 平成26年11月1日から11月30日まで
- 調査対象 洞戸地区の自治会加入世帯の中から、市役所が無作為に選び出した18歳以上の980人
- 実施方法 自治会を通じて配布及び回収、洞戸地域委員会準備会で集計及び分析
- 有効回収数 782通（回収率 79.8%）  
※洞戸地区の全住民（2,063人）の 37.9%

## あなた自身についてお聞きします

問1 あなたの性別はどちらですか。

性別	回答数	割合
1 男	331	42.3%
2 女	357	45.7%
不明（無回答）	94	12.0%
合計	782	100.0%

### 【参考】洞戸地区の住民基

性別	人数	割合
1 男	972	47.1%
2 女	1,091	52.9%
合計	2,063	100.0%

☆アンケートの回答者の性別は、男性42.3%、女性45.7%、不明（無回答）12.0%となっています。

問2 あなたの年齢は満何歳ですか。

年齢区分	回答数	割合
1 18歳から29歳まで	57	7.3%
2 30歳から39歳まで	69	8.8%
3 40歳から49歳まで	92	11.8%
4 50歳から59歳まで	128	16.4%
5 60歳から69歳まで	162	20.7%
6 70歳から79歳まで	125	16.0%
7 80歳以上	112	14.3%
不明（無回答）	37	4.7%
合計	782	100.0%

【参考】洞戸地区の住民基本台帳人口 年齢別(平成26年11月1日現在)

年齢区分	人数	割合
0～9歳	136	6.6%
10～19歳	165	8.0%
20～29歳	145	7.0%
30～39歳	187	9.1%
40～49歳	209	10.1%
50～59歳	267	12.9%
60～69歳	347	16.8%
70～79歳	274	13.3%
80歳以上	333	16.1%
合計	2,063	100.0%

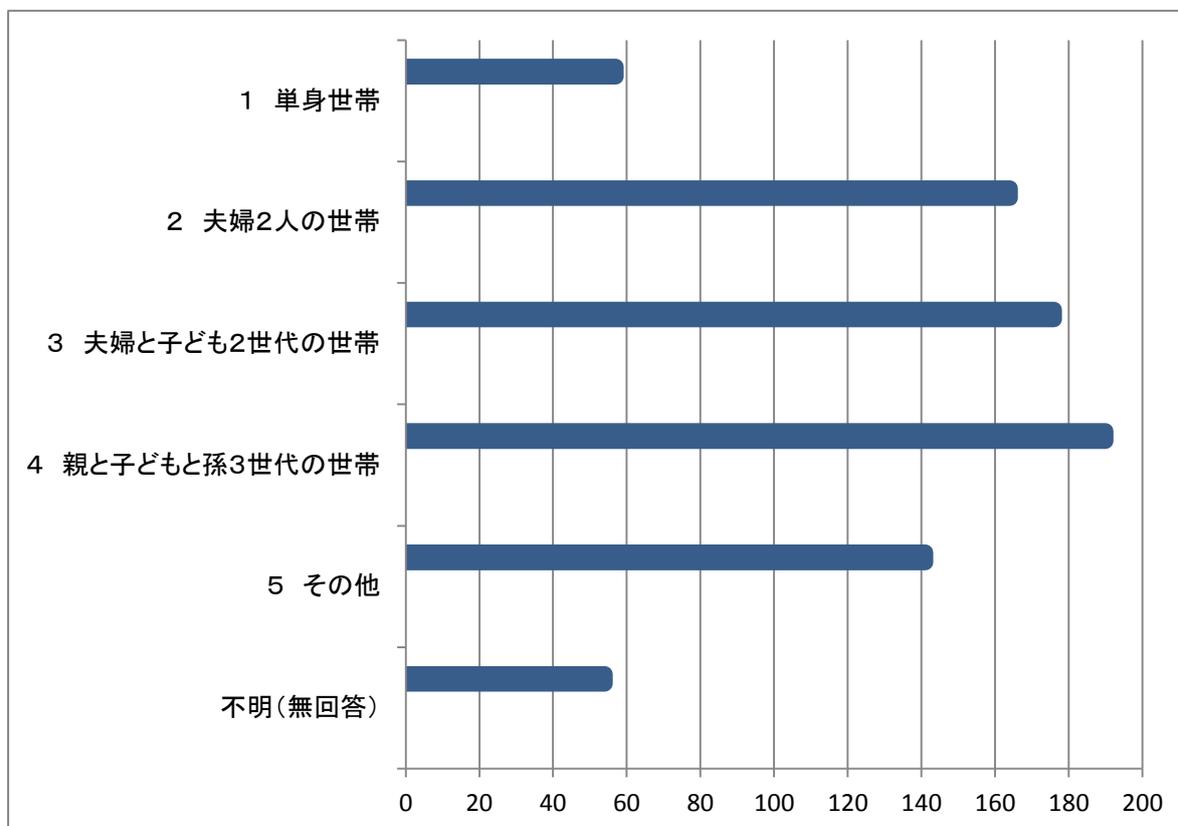
☆年齢は、「60歳から69歳まで」が、20.7%と一番多く、次いで、「50歳から59歳まで」が、16.4%、「70歳から79歳まで」が、16.0%と多くなっています。

問3 あなたの世帯はどのような形態ですか。

項目	回答数	割合
1 単身世帯	57	7.3%
2 夫婦2人の世帯	164	21.0%
3 夫婦と子ども2世代の世帯	190	24.3%
4 親と子どもと孫3世代の世帯	176	22.5%
5 その他	141	18.0%
不明（無回答）	54	6.9%
合計	782	100.0%

「その他」の主な回答  
4世代の世帯、兄妹、兄弟、姉妹、夫婦と姉妹 など

☆年齢は、「60歳から69歳まで」が、20.7%と一番多く、次いで、「50歳から59歳まで」が、16.4%、「70歳から79歳まで」が、16.0%と多くなっています。



☆世帯構成は、親と子どもからなる「2世代の世帯」が一番多く24.3%、次いで、親と子と孫からなる「3世代の世帯」が、22.5%と多くなっています。  
「単身世帯」が7.3%を占めており、今後の増加が懸念されます。

問4 あなたは既婚ですか・未婚ですか。

項目	回答数	割合
1 結婚している	511	65.3%
2 未婚である	118	15.1%
3 死別、離婚などで単身である	97	12.4%
不明（無回答）	56	7.2%
合計	782	100.0%

【参考】年齢及び男女別の既婚・未婚等の状況

年齢区分		結婚している		未婚である		離婚、死別で単身		無回答		合計
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
18～29歳	男	1	4.3%	20	87.0%	1	4.3%	1	4.3%	23
	女	6	18.8%	25	78.1%	1	3.1%	0	0.0%	32
	不明	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
	計	7	12.3%	47	82.5%	2	3.5%	1	1.8%	57
30～39歳	男	18	60.0%	12	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	30
	女	26	74.3%	6	17.1%	2	5.7%	1	2.9%	35
	不明	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
	計	48	69.6%	18	26.1%	2	2.9%	1	1.4%	69
40～49歳	男	33	71.7%	10	21.7%	3	6.5%	0	0.0%	46
	女	39	92.9%	3	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	42
	不明	1	25.0%	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
	計	73	79.3%	16	17.4%	3	3.3%	0	0.0%	92
50～59歳	男	39	69.6%	15	26.8%	2	3.6%	0	0.0%	56
	女	51	82.3%	5	8.1%	5	8.1%	1	1.6%	62
	不明	10	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10
	計	100	78.1%	20	15.6%	7	5.5%	1	0.8%	128
60～69歳	男	63	76.8%	10	12.2%	8	9.8%	1	1.2%	82
	女	65	86.7%	0	0.0%	10	13.3%	0	0.0%	75
	不明	4	80.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	5
	計	132	81.5%	10	6.2%	18	11.1%	2	1.2%	162
70～79歳	男	47	88.7%	2	3.8%	3	5.7%	1	1.9%	53
	女	33	54.1%	3	4.9%	21	34.4%	4	6.6%	61
	不明	9	81.8%	0	0.0%	1	9.1%	1	9.1%	11
	計	89	71.2%	5	4.0%	25	20.0%	6	4.8%	125
80歳以上	男	28	71.8%	0	0.0%	9	23.1%	2	5.1%	39
	女	19	38.0%	2	4.0%	26	52.0%	3	6.0%	50
	不明	15	65.2%	0	0.0%	5	21.7%	3	13.0%	23
	計	62	55.4%	2	1.8%	40	35.7%	8	7.1%	112
年齢不明		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	37	100.0%	37
合計		511	65.3%	118	15.1%	97	12.4%	56	7.2%	782

☆「既婚者」が、65.3%、「未婚者」が15.1%、「死別、離婚などで単身」が12.4%となっています。  
「死別、離婚などで単身」は、高齢の女性になるほど多くなる傾向にあります。  
年齢別の未婚者は、「18歳から29歳まで」のうち82.5%、「30歳から39歳まで」のうち26.1%、「40歳から49歳まで」のうち17.4%となっています。  
回答者全体では、15.1%の人が未婚者となっています。  
また、「30歳から39歳まで」の男性のうち未婚が40.0%と多くなっています。

問5 あなたの職業は何ですか。

項目	回答数	割合
1 農業、林業	30	3.8%
2 自営業、事業主	90	11.5%
3 会社員、団体職員	194	24.8%
4 公務員	23	2.9%
5 会社や団体の役員	3	0.4%
6 パート・アルバイト	105	13.4%
7 学生	9	1.2%
8 主に家事、育児、孫の世話	49	6.3%
9 その他（ ）	12	1.5%
10 無職	230	29.4%
不明（無回答）	37	4.7%
合計	782	100.0%

「その他」の主な回答  
具体的な記入はありませんでした。

年齢別×主な職業の状況

年齢区分	2 自営業 事業主		3 会社員 団体職員		6 パート アルバイ		10 無職	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 18歳から29歳まで	0	0.0%	34	59.6%	8	14.0%	0	0.0%
2 30歳から39歳まで	7	10.1%	34	49.3%	7	10.1%	3	4.3%
3 40歳から49歳まで	8	8.7%	44	47.8%	25	27.2%	4	4.3%
4 50歳から59歳まで	22	17.2%	49	38.3%	24	18.8%	11	8.6%
5 60歳から69歳まで	36	22.2%	29	17.9%	33	20.4%	38	23.5%
6 70歳から79歳まで	17	13.6%	2	1.6%	9	7.2%	82	65.6%
7 80歳以上	2	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	90	80.4%

☆職業は、「無職」が29.4%と一番多く、次いで「会社員・団体職員」が24.8%、「パート・アルバイト」が13.4%となっています。

☆特に、地域活力を生み出すために、高齢者の活用が重要な課題となっています。

問6 問5で「1」から「9」を選ばれた方にお聞きします。あなたの勤務地又は通学地はどこですか。

項目	回答数	割合
1 洞戸地域	277	50.9%
2 関市内（洞戸以外）	94	17.3%
3 美濃市	49	9.0%
4 山縣市、岐阜市	77	14.2%
5 その他の地域（県内）	27	5.0%
6 その他の地域（県外）	20	3.7%
合計	544	100.0%

「その他」の主な回答

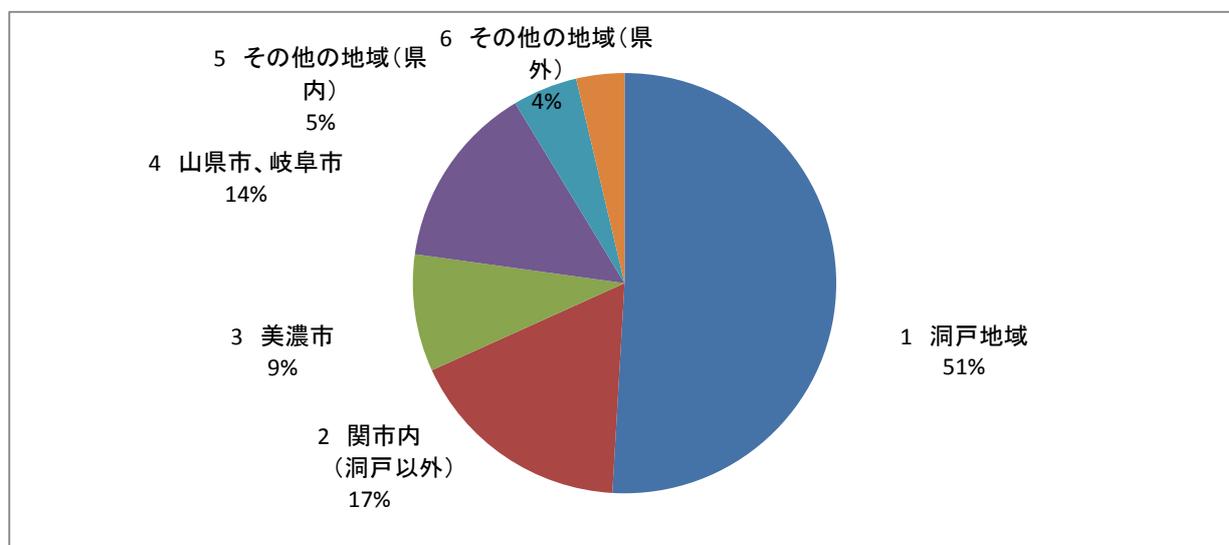
（県内）

各務原市（4）、岐阜市（5）、郡上市（3）、美濃加茂市（2）

岐南町（2）など

（県外）

名古屋市（9）など



	洞戸地域	関市内（洞戸以外）	美濃市	山縣市、岐阜市	その他（県内）	その他（県外）	洞戸地域内	洞戸地域外
自営業、事業主	64	3	2	6	5	7	85.3%	14.7%
会社員、団体職員	46	32	28	44	14	10	30.7%	69.3%
公務員	6	5	0	2	1	1	46.2%	53.8%
会社や団体の役員	0	1	1	0	0	0	0.0%	100.0%
パート・アルバイト	53	12	17	14	1	2	55.2%	44.8%
学生	0	1	1	3	2	2	0.0%	100.0%

☆勤務先は、「洞戸地域」が50.9%と最も多く、次いで「関市内（洞戸地区外）」が17.3%、「山縣市、岐阜市」が14.2%となっています。

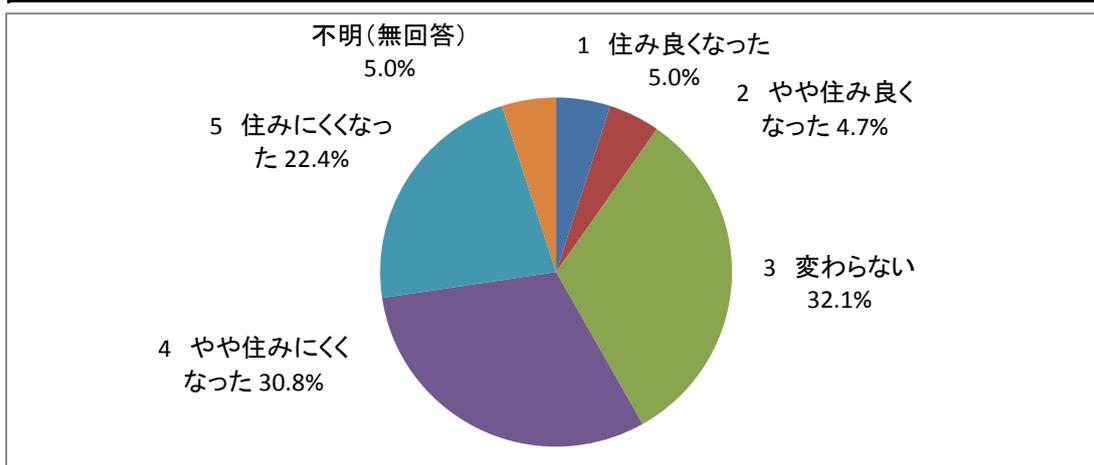
☆仕事別の勤務先では、「自営業・事業主」は、洞戸地域内に努めている割合が85.3%となっています。職業の中心である「会社員・団体職員」の勤め先は、69.3%が洞戸地域外になっています。

これは、生産年齢人口が昼間に地域外に出かけていることを示しており、勤務先が将来的な地域外への転出のきっかけになっていると推測されます。

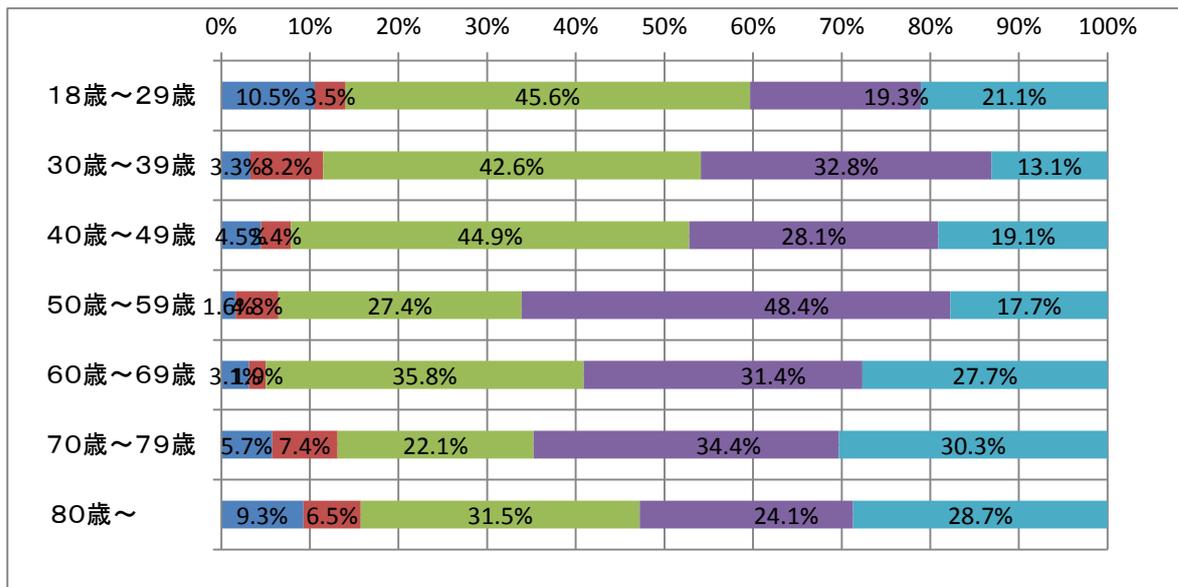
## あなたの暮らしについてお聞きします

問7 10年前と比べて、洞戸地域は住み良くなりましたか。

項目	回答数	割合
1 住み良くなった	39	5.0%
2 やや住み良くなった	37	4.7%
3 変わらない	251	32.1%
4 やや住みにくくなった	241	30.8%
5 住みにくくなった	175	22.4%
不明（無回答）	39	5.0%
合計	782	100.0%



### 【参考】年齢別にみる住みやすさ



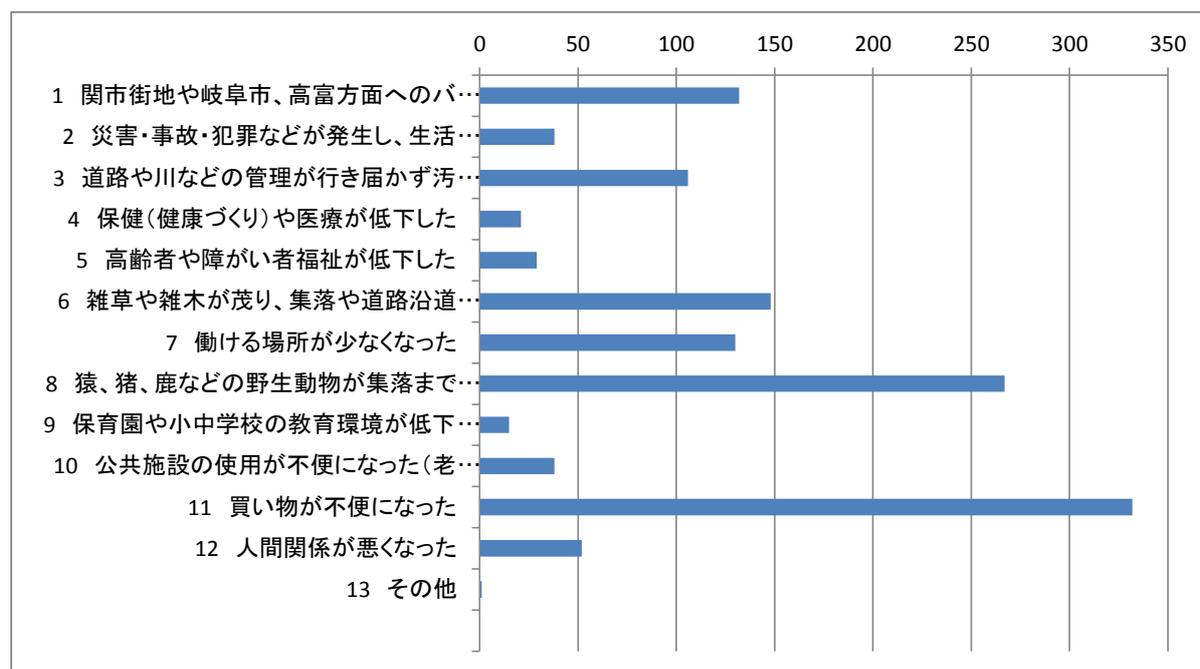
☆10年前と比べて住みやすさでは、「やや住みにくくなった」が30.8%、「住みにくくなった」が22.4%と、回答者の5割の人が住みにくさを回答しています。  
 ☆年齢別に見ても同様の住みにくさの割合が高いことがわかります。

問8 問7で「4」、「5」を選ばれた方にお聞きします。あなたが住みにくくなったと思う理由は何ですか。

項目	回答数	割合
1 関市街地や岐阜市、高富方面へのバスの便が悪くなった	132	10.1%
2 災害・事故・犯罪などが発生し、生活の安全面が心配になった	38	2.9%
3 道路や川などの管理が行き届かず汚くなった	106	8.1%
4 保健（健康づくり）や医療が低下した	21	1.6%
5 高齢者や障がい者福祉が低下した	29	2.2%
6 雑草や雑木が茂り、集落や道路沿道の景観が悪くなった	148	11.3%
7 働ける場所が少なくなった	130	9.9%
8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	267	20.4%
9 保育園や小中学校の教育環境が低下した	15	1.1%
10 公共施設の使用が不便になった（老朽化や申し込み手続きなど）	38	2.9%
11 買い物が不便になった	332	25.4%
12 人間関係が悪くなった	52	4.0%
13 その他（ ）	1	0.1%
合計	1,309	100.0%

「その他」の主な回答

- ・一層過疎化が進んだ。・近所の方との会話が無くなった。・除雪作業が遅い、雑になった。
- ・現在の自治会が個人の事に対し干渉しすぎである。
- ・自然が壊された。特に板取川が悪くなった。
- ・人口的理由。・全て〇をつけてもよいくらいである。・洞戸地域は店が無いので不便です。
- ・美濃行のバスがない、便利がわるい。・10年前は洞戸にいなかった。
- ・貧富の差が大きくなった。 など



☆「住みにくくなった」理由は、「買い物が不便になった」が、25.4%と一番多く、次いで、「猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる」が20.4%、「雑草や雑木が茂り、集落や道路沿道の景観が悪くなった」が11.3%、と多くなっています。地域別に見ても同様の傾向が見られます。

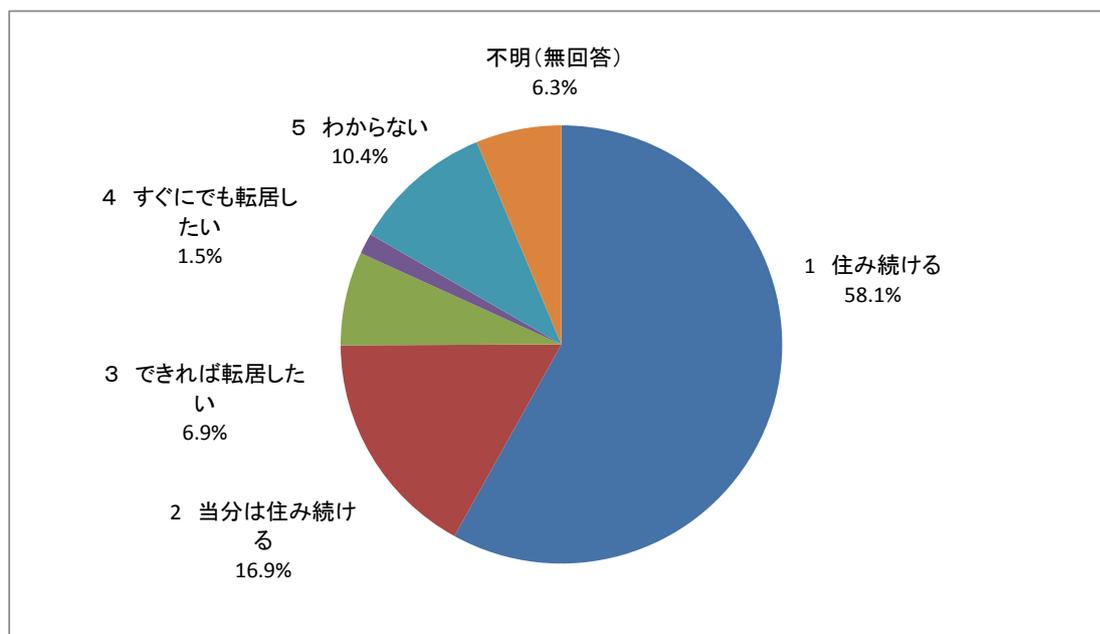
【参考】 地区別にみるあなたが住みにくくなったと思う理由は何ですか。

地区別	第1位	第2位	第3位
市場	11 買い物が不便になった	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	7 働ける場所が少なくなった
通元寺	11 買い物が不便になった	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	1 関市街地や岐阜市、高富方面へのバスの便が悪くなった
片	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	11 買い物が不便になった	6 雑草や雑木が茂り、集落や道路沿道の景観が悪くなった
下菅谷	11 買い物が不便になった	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	6 雑草や雑木が茂り、集落や道路沿道の景観が悪くなった
上菅谷	11 買い物が不便になった	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	6 雑草や雑木が茂り、集落や道路沿道の景観が悪くなった
小坂	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	6 雑草や雑木が茂り、集落や道路沿道の景観が悪くなった	11 買い物が不便になった
大野	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	11 買い物が不便になった	6 雑草や雑木が茂り、集落や道路沿道の景観が悪くなった
黒谷	11 買い物が不便になった	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	6 雑草や雑木が茂り、集落や道路沿道の景観が悪くなった
栗原	11 買い物が不便になった	7 働ける場所が少なくなった	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる
飛瀬	11 買い物が不便になった	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	1 関市街地や岐阜市、高富方面へのバスの便が悪くなった
尾倉	11 買い物が不便になった	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	6 雑草や雑木が茂り、集落や道路沿道の景観が悪くなった
高賀	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	11 買い物が不便になった	3 道路や川などの管理が行き届かず汚くなった
阿部	11 買い物が不便になった	6 雑草や雑木が茂り、集落や道路沿道の景観が悪くなった	1 関市街地や岐阜市、高富方面へのバスの便が悪くなった
高見	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	11 買い物が不便になった	1 関市街地や岐阜市、高富方面へのバスの便が悪くなった
小瀬見	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	6 雑草や雑木が茂り、集落や道路沿道の景観が悪くなった	11 買い物が不便になった



問9 あなたは、洞戸地域にこれからも住み続けますか。

項目	回答数	割合
1 住み続ける	454	58.1%
2 当分は住み続ける	132	16.9%
3 できれば転居したい	54	6.9%
4 すぐにでも転居したい	12	1.5%
5 わからない	81	10.4%
不明（無回答）	49	6.3%
合計	782	100.0%



年齢区分	1 住み続ける	2 当分は住み続ける	3 できれば転居したい	4 すぐにでも転居したい	5 わからない	不明(無回答)	合計	住み続ける 1+2	転居したい 3+4	わからない 5
18歳から29歳まで	8	13	9	4	21	2	57	36.8%	22.8%	36.8%
30歳から39歳まで	31	14	5	2	13	4	69	65.2%	10.1%	18.8%
40歳から49歳まで	44	25	8	2	12	1	92	75.0%	10.9%	13.0%
50歳から59歳まで	75	28	7	2	14	2	128	80.5%	7.0%	10.9%
60歳から69歳まで	116	23	14	0	6	3	162	85.8%	8.6%	3.7%
70歳から79歳まで	91	20	4	1	5	4	125	88.8%	4.0%	4.0%
80歳以上	85	9	4	1	8	5	112	83.9%	4.5%	7.1%
年齢不明	4	0	3	0	2	28	37	10.8%	8.1%	5.4%

☆「住み続ける」が、58.2%と一番多く、次いで、「当分は住み続ける」が16.9%、「わからない」が10.4%となっています。

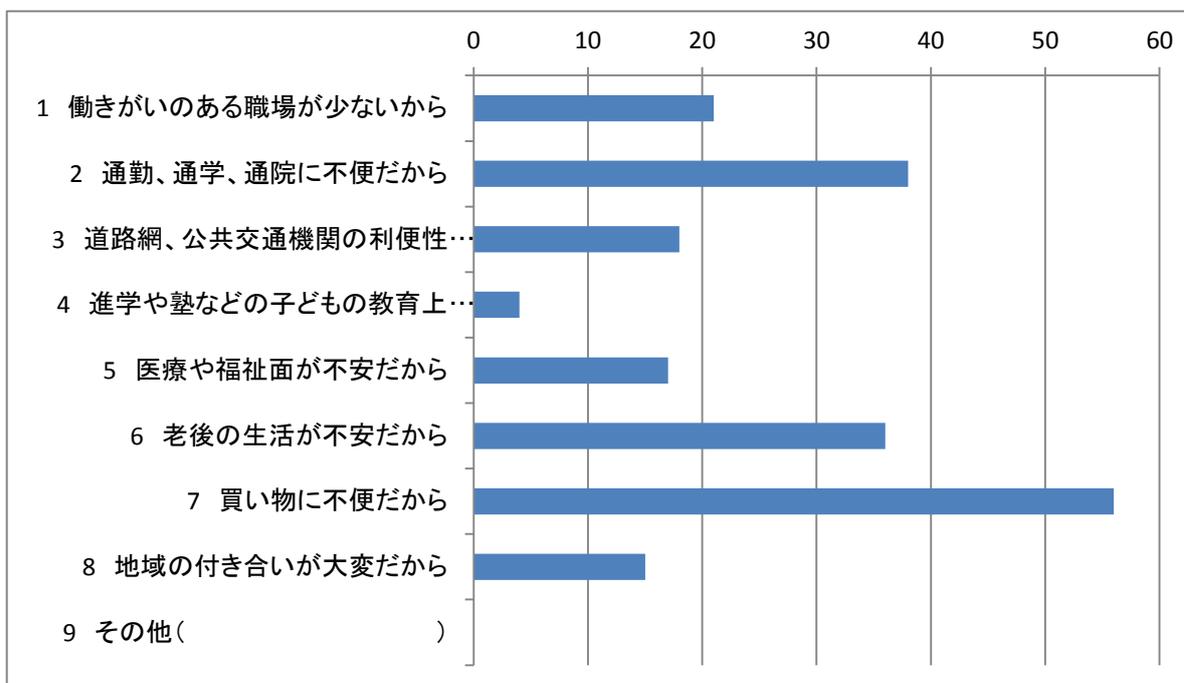
☆年齢別の状況を見ると「18歳から29歳まで」では36.8%が「わからない」と回答していますが、30歳から上の年齢層では全て「住み続ける」が一番多くなっており、年齢が高くなるほど、地域に住み続ける意向が高いことがわかります。

問10 問9で「3」、「4」を選ばれた方にお聞きします。あなたが転居したいと思う理由は何ですか。

項目	回答数	割合
1 働きがいのある職場が少ないから	21	10.2%
2 通勤、通学、通院に不便だから	38	18.5%
3 道路網、公共交通機関の利便性が悪いから	18	8.8%
4 進学や塾などの子どもの教育上の問題から	4	2.0%
5 医療や福祉面が不安だから	17	8.3%
6 老後の生活が不安だから	36	17.6%
7 買い物に不便だから	56	27.3%
8 地域の付き合いが大変だから	15	7.3%
9 その他( )	0	0.0%
合計	205	100.0%

「その他」の主な回答

- ・洞戸に魅力を感じないから
- ・雪が多い
- ・家の周りの木が大きくなり見通しが悪く日当たりも悪くなっているので山の持ち主に木を切ってもらいたい。
- ・家族団欒が少なくなった。テレビ等に集中するため。
- ・子供が都会に行って働いていますが、これからは、若い人が働く所がほしい。 など



☆転居したい理由は、「買い物に不便だから」が、27.3%と一番多く、次いで、「通勤、通学、通院に不便だから」が、18.5%、「老後の生活が不安だから」が17.6%、「働きがいのある職場が少ないから」が10.2%となっています。  
地域別に見ても同様の傾向が見られます。

【参考】 地区別にみるあなたが転居したいと思う理由は何ですか。

地区別	第1位	第2位	第3位
市場	7 買い物に不便だから	2 通勤、通学、通院に不便だから	5 医療や福祉面が不安だから
通元寺	7 買い物に不便だから	6 老後の生活が不安だから	2 通勤、通学、通院に不便だから
片	7 買い物に不便だから	5 医療や福祉面が不安だから	6 老後の生活が不安だから
下菅谷	7 買い物に不便だから	1 働きがいのある職場が少ないから	2 通勤、通学、通院に不便だから
上菅谷	6 老後の生活が不安だから	7 買い物に不便だから	5 医療や福祉面が不安だから
小坂	7 買い物に不便だから	8 地域の付き合いが大変だから	6 老後の生活が不安だから
大野	7 買い物に不便だから	2 通勤、通学、通院に不便だから	6 老後の生活が不安だから
黒谷	7 買い物に不便だから	2 通勤、通学、通院に不便だから	6 老後の生活が不安だから
栗原	2 通勤、通学、通院に不便だから	7 買い物に不便だから	6 老後の生活が不安だから
飛瀬	2 通勤、通学、通院に不便だから	3 道路網、公共交通機関の利便性が悪いから	7 買い物に不便だから
尾倉	6 老後の生活が不安だから	7 買い物に不便だから	1 働きがいのある職場が少ないから
高賀	6 老後の生活が不安だから	2 通勤、通学、通院に不便だから	3 道路網、公共交通機関の利便性が悪いから
阿部			
高見	6 老後の生活が不安だから	7 買い物に不便だから	
小瀬見	6 老後の生活が不安だから	7 買い物に不便だから	2 通勤、通学、通院に不便だから

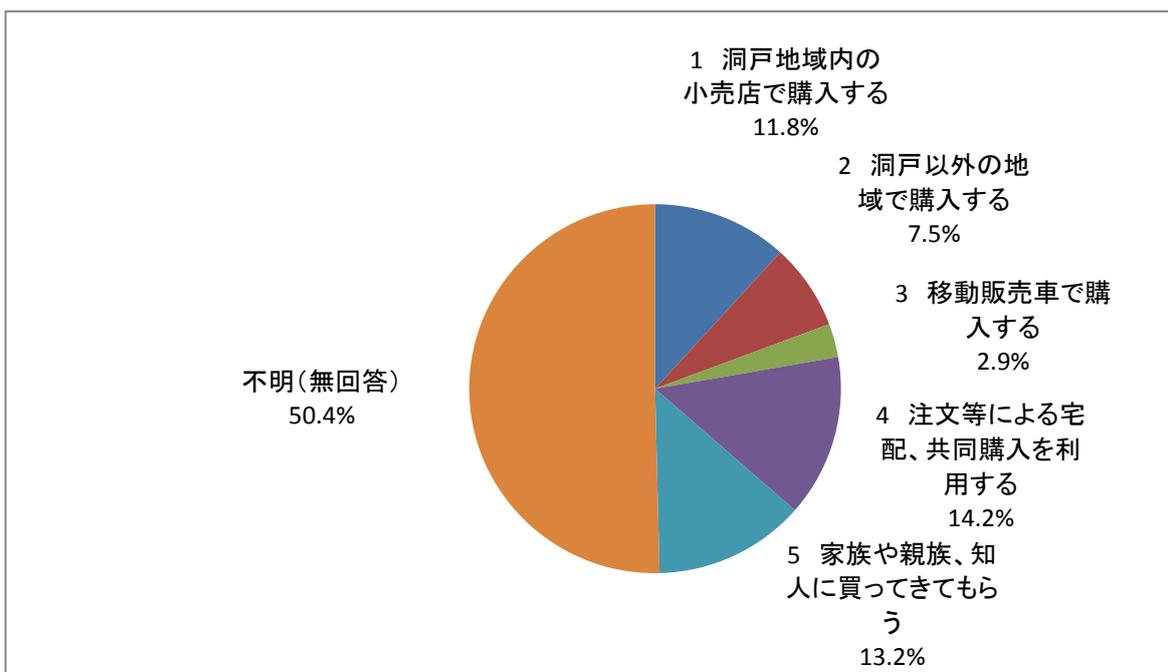
【参考】 年齢別にみるあなたが転居したいと思う理由は何ですか。

年齢区分	第1位	第2位	第3位
18～29歳	11 買い物が不便になった	7 働ける場所が少なくなった	1 関市街地や岐阜市、高富方面へのバスの便が悪くなった
30～39歳	11 買い物が不便になった	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	7 働ける場所が少なくなった
40～49歳	11 買い物が不便になった	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	7 働ける場所が少なくなった
50～59歳	11 買い物が不便になった	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	7 働ける場所が少なくなった
60～69歳	11 買い物が不便になった	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	7 働ける場所が少なくなった
70～79歳	11 買い物が不便になった	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	1 関市街地や岐阜市、高富方面へのバスの便が悪くなった
80歳以上	11 買い物が不便になった	8 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	6 雑草や雑木が茂り、集落や道路沿道の景観が悪くなった

## 買い物についてお聞きします

問11 あなたは、日常生活用品を主にどのように手に入れますか。

項目	回答数	割合
1 洞戸地域内の小売店で購入する	92	11.8%
2 洞戸以外の地域で購入する	59	7.5%
3 移動販売車で購入する	23	2.9%
4 注文等による宅配、共同購入を利用する	111	14.2%
5 家族や親族、知人に買ってもらう	103	13.2%
不明（無回答）	394	50.4%
合計	782	100.0%



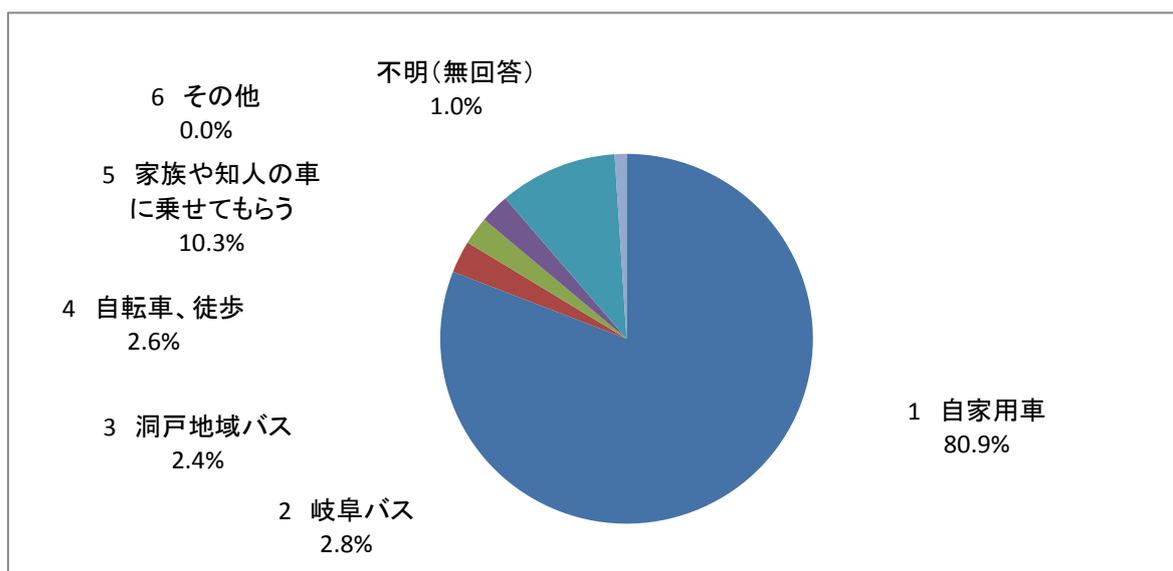
☆日常生活用品の購買は、「洞戸内」以外を選択する回答が多く、今後、さらに高齢化が進めば、車の運転が困難な方が多くなると、暮らしを支える小売店の需要が高まることが考えられます。

問12 問11で「1」、「2」を選ばれた方におたずねします。あなたは、日常生活用品の買い物には、どのような交通手段で行きますか

項目	回答数	割合
1 自家用車	631	80.9%
2 岐阜バス	22	2.8%
3 洞戸地域バス	19	2.4%
4 自転車、徒歩	20	2.6%
5 家族や知人の車に乗せてもらう	80	10.3%
6 その他	0	0.0%
不明（無回答）	8	1.0%
合計	780	100.0%

「その他」の主な回答

- ・板取ふれあいバス
- ・岐阜市市内
- ・長男が買ってくる
- ・殆ど自家用車・自分で使う
- ・娘と行く
- ・近場はデマンドバス、遠方は家族に依頼
- ・日用品はコメリ。食品はバロー（武芸川店）。少しぐらいはお金を出してよい。
- ・洞戸内である程度品物のある店があると良いです
- ・郵便局（振込、手紙）に洞戸地域バスで行きたいのですが、とにかくバスの便が悪く、それだけが悩みです。バスの運転時間表もわかりません



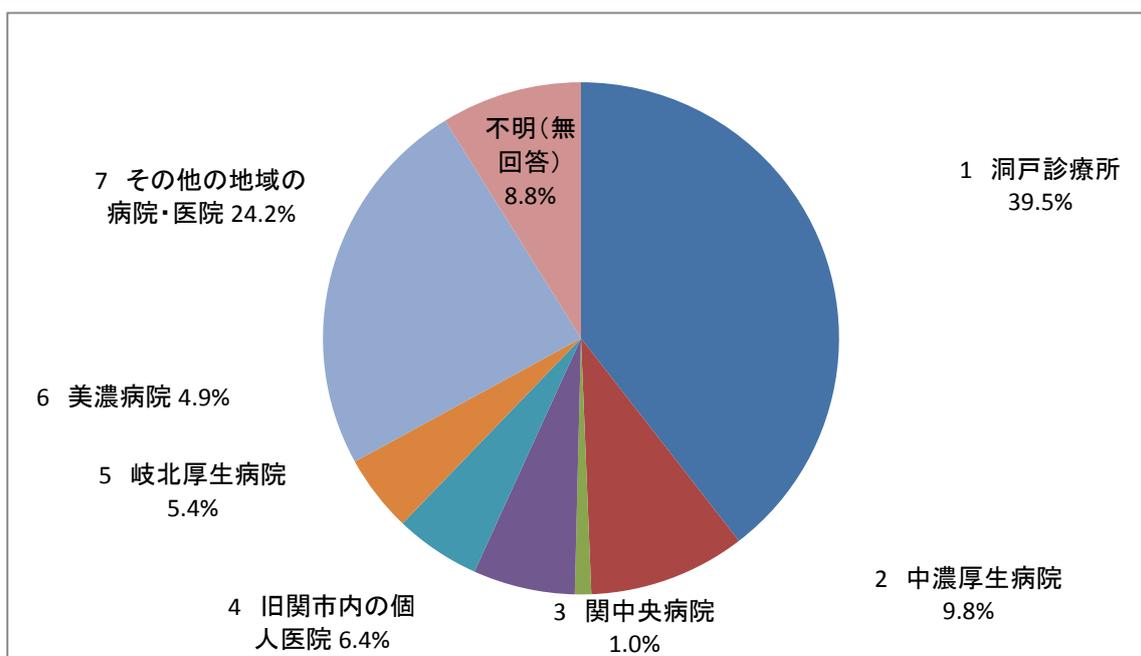
☆買い物のための交通手段は、「自家用車」が、80.9%と一番多く、次いで「家族や知人」が、10.3%と多くなっています。

☆洞戸地域は、車での移動が主要な交通手段であることがわかります。今後さらに高齢化が進み、車の運転が困難になる人が増加したとき、路線バス、洞戸地域バスが重要な交通手段になることが考えられ、今後、さらに公共交通機関の利用促進に努める必要があります。

## 通院についてお聞きします

問13 あなたが主に利用する医療機関はどちらですか。

項目	回答数	割合
1 洞戸診療所	309	39.5%
2 中濃厚生病院	77	9.8%
3 関中央病院	8	1.0%
4 旧関市内の個人医院	50	6.4%
5 岐北厚生病院	42	5.4%
6 美濃病院	38	4.9%
7 その他の地域の病院・医院	189	24.2%
不明（無回答）	69	8.8%
合計	782	100.0%



「その他」の主な回答

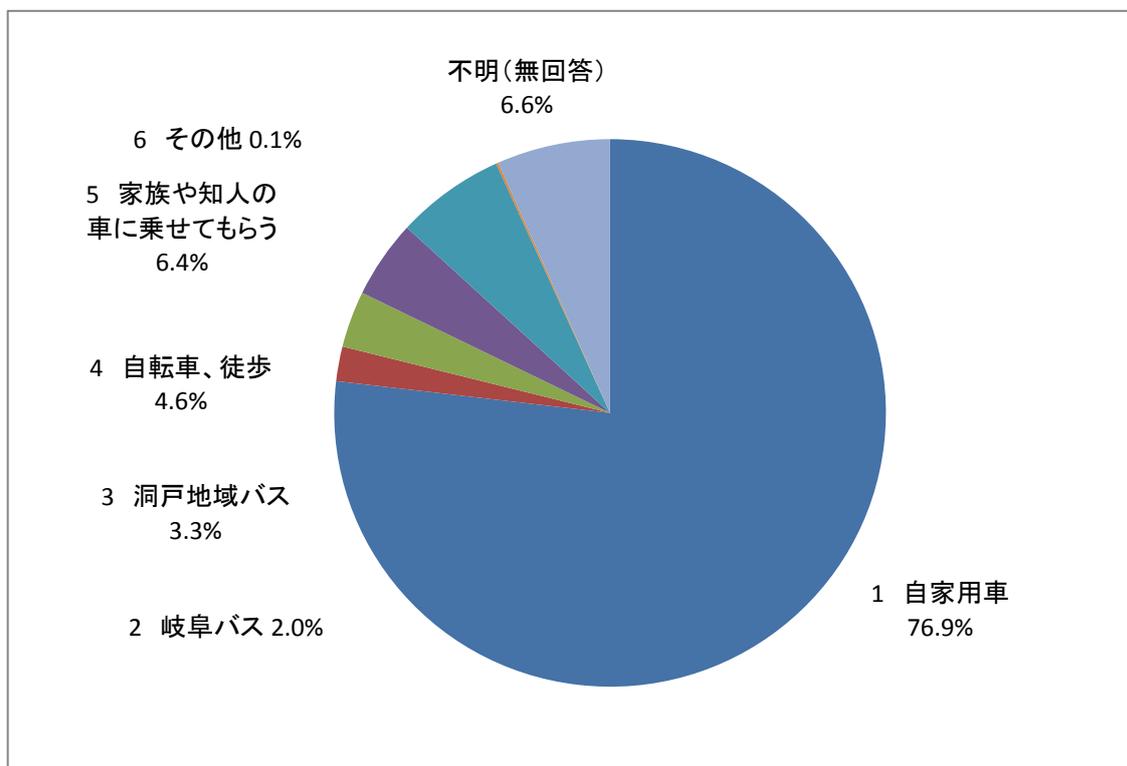
山泉市（回答数97）、岐阜市（回答数63）、美濃市（12）、武芸川町（6）  
名古屋市（6）など

☆医療機関は、「洞戸診療所」が39.6%と多く、次いで、「中濃厚生病院」、「旧関市内の個人医院」、「岐北厚生病院」、「美濃市民病院」の順となっています。

問14 医療機関には、主にどのような交通手段で行きますか。

項目	回答数	割合
1 自家用車	601	76.9%
2 岐阜バス	16	2.0%
3 洞戸地域バス	26	3.3%
4 自転車、徒歩	36	4.6%
5 家族や知人の車に乗せてもらう	50	6.4%
6 その他	1	0.1%
不明（無回答）	52	6.6%
合計	782	100.0%

「その他」の主な回答  
具体的な記入はありませんでした。



☆医療機関へ行く交通手段は、「自家用車」が、77.1%と一番多く、次いで、「家族や知人」が6.4%になっており、車が主な交通手段であることがわかります。

☆地域の高齢化が進んで、車の運転が困難になる人が増加する場合、地区外への通院を想定した方法の検討が必要となります。

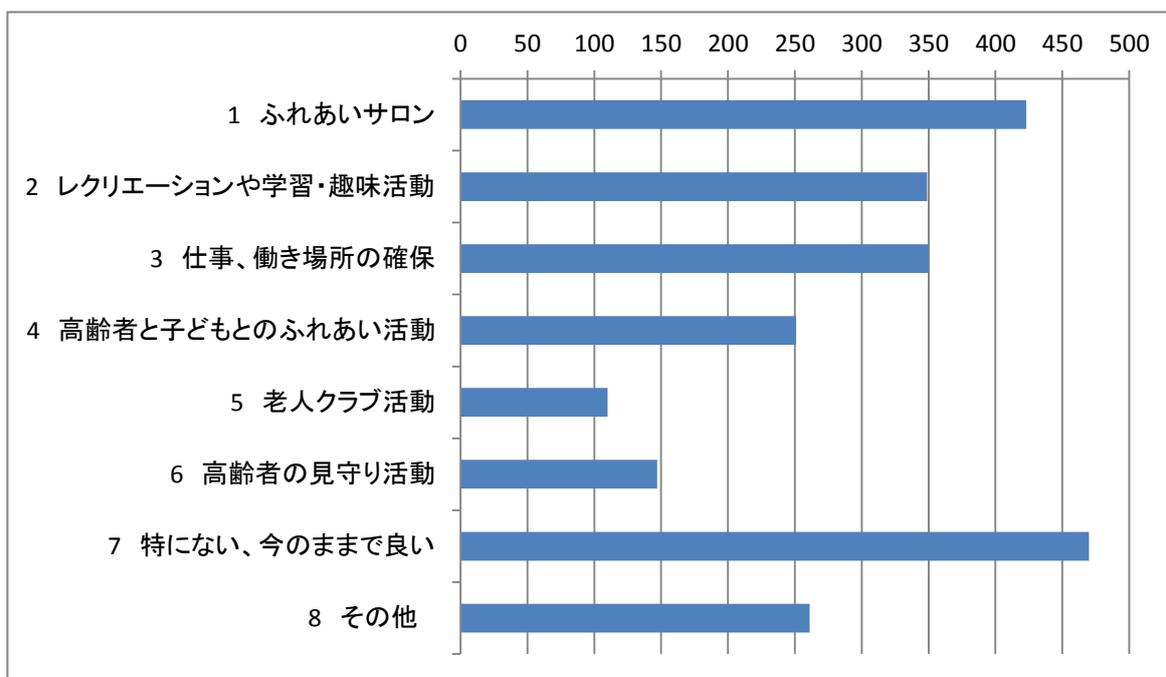
## 高齢者福祉についてお聞きします

問15 高齢者の福祉や生きがいを高めていくために、地域で充実させたいことはありますか。

項目	回答数	割合
1 ふれあいサロン（高齢者が集まって食事したり、歓談したりする場）	248	24.4%
2 レクリエーションや学習・趣味活動	138	13.6%
3 仕事、働き場所の確保	234	23.0%
4 高齢者と子どもとのふれあい活動	52	5.1%
5 老人クラブ活動	65	6.4%
6 高齢者の見守り活動	103	10.1%
7 特にない、今のままで良い	174	17.1%
8 その他	2	0.2%
合計	1,016	100.0%

### 「その他」の主な回答

商店やスーパーなどの生活の上で顔を合わせる場所  
特に男性の生きがいを高めるために、男性が気軽に集まる場所、機会を多くしたらどうでしょう。女は割に自発的に集まるが男は無理にでも引き出さねば  
高齢者は人とのコミュニケーションを望んでいる。  
市のお手伝いや行事に積極的に参加してもらおうよう促す。（いきがいを作る）など



☆「ふれあいサロン」が24.4%と一番多く、次いで、「仕事、働き場の確保」が、23.0%となっています。

☆気軽に仲間と交流している場所に対する需要が高く今後の設置を検討する必要があります。また、高齢者能力を地域に生かすために、高齢者の活躍の場を創設する必要があります。

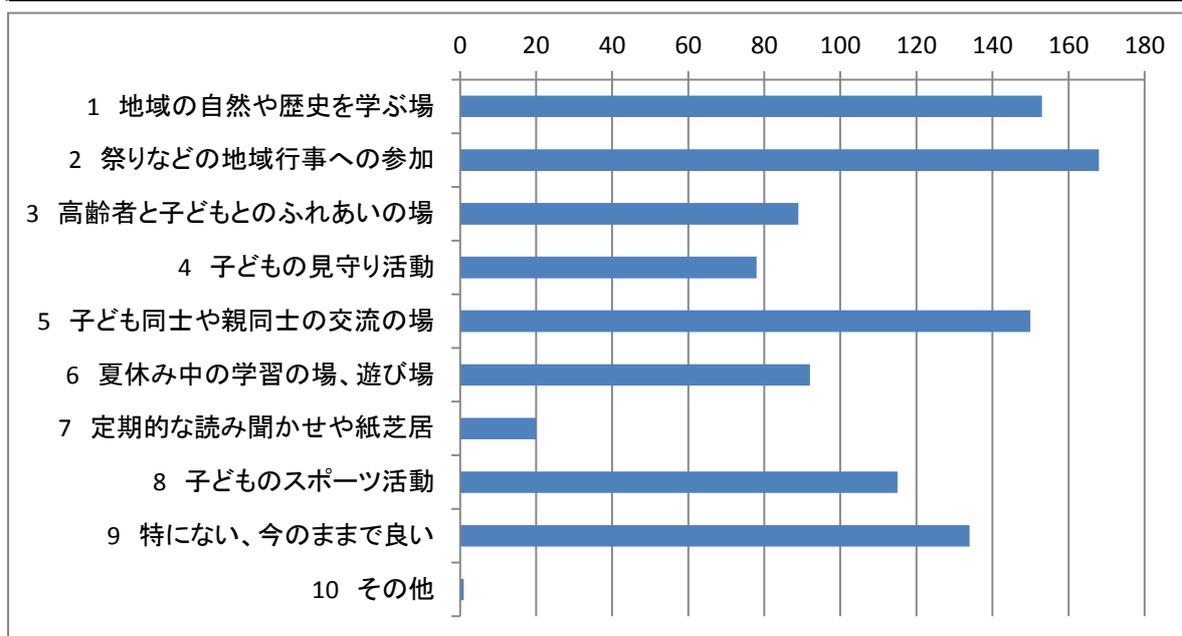
## 子ども・女性をとりまく環境整備についてお聞きします

問16 子どもをいきいきと育むために、地域で充実させたいことはありますか。

項目	回答数	割合
1 地域の自然や歴史を学ぶ場	153	15.3%
2 祭りなどの地域行事への参加	168	16.8%
3 高齢者と子どもとのふれあいの場	89	8.9%
4 子どもの見守り活動	78	7.8%
5 子ども同士や親同士の交流の場	150	15.0%
6 夏休み中の学習の場、遊び場	92	9.2%
7 定期的な読み聞かせや紙芝居	20	2.0%
8 子どものスポーツ活動	115	11.5%
9 特にない、今のままで良い	134	13.4%
10 その他	1	0.1%
合計	1,000	100.0%

「その他」の主な回答

- ・生きる力をつける場。プレパーク、森の幼稚園、様々な職業(技術)の体験。・文武両道。
- ・親の再教育。・子供自律心を高めていく。・自然の中で体を使った遊びや楽しみ方を教える。
- ・自発的な環境整備。・村民運動会がやりたい。・留宅家庭の支援、延長保育や学童の拡大。
- ・自然を活かす活動が洞戸にとって大事。・親同志のコミュニケーションが必要。
- ・高齢者と子供の接点が少ない。・文化面の充実教育日本の伝統音楽など。
- ・大人が計画を立てるのではなく、子供たち自らが、発案して、それを助けるのが大人であって欲しい。
- ・保育園小学校の園児・児童の保護者が仕事から帰宅するまでの託児所。 など

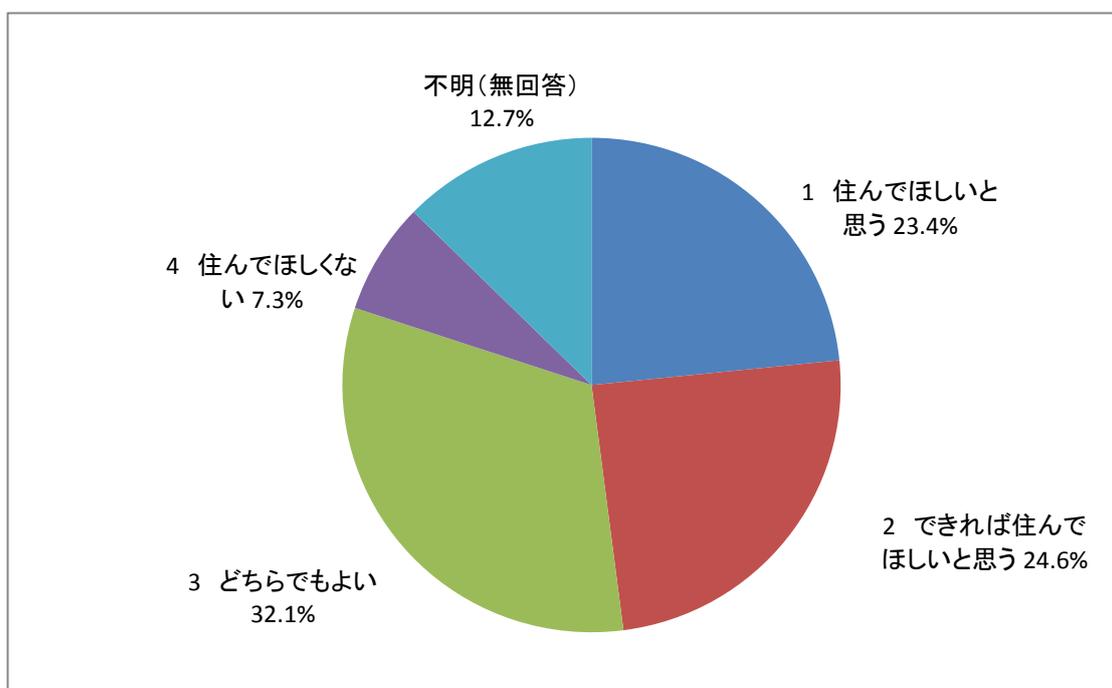


☆子育て支援について、「祭りなどの地域行事への参加」が、16.8%と一番多く、次いで、「地域の自然や歴史を学ぶ場」が15.3%、と高い傾向にあり、子どもが地域の伝統文化や歴史、自然に触れ、郷土を学ぶことが必要だと考えられています。

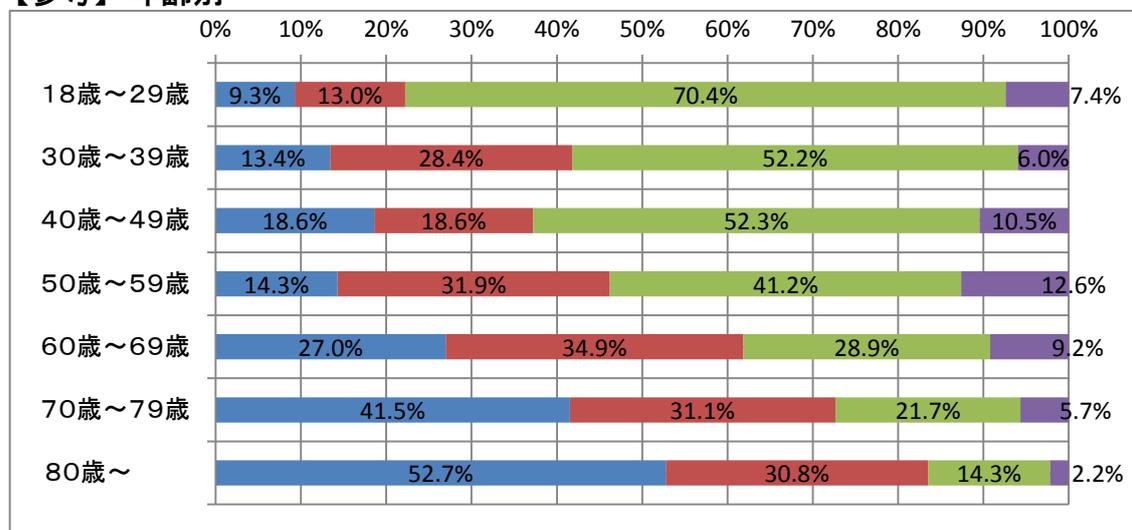
☆「子ども同士や親同士の交流の場」が15.0%、「子どものスポーツ活動」が11.5%と過疎地域における子育ての悩みとなる「同じ世代の人との交流」、「子どものスポーツ環境」について、環境の改善が必要と考えられていることがわかります。

問17 あなたはお子さんに、洞戸地域に住んでほしいと思いますか。

項目	回答数	割合
1 住んでほしいと思う	183	23.4%
2 できれば住んでほしいと思う	192	24.6%
3 どちらでもよい	251	32.1%
4 住んでほしくない	57	7.3%
不明（無回答）	99	12.7%
合計	782	100.0%



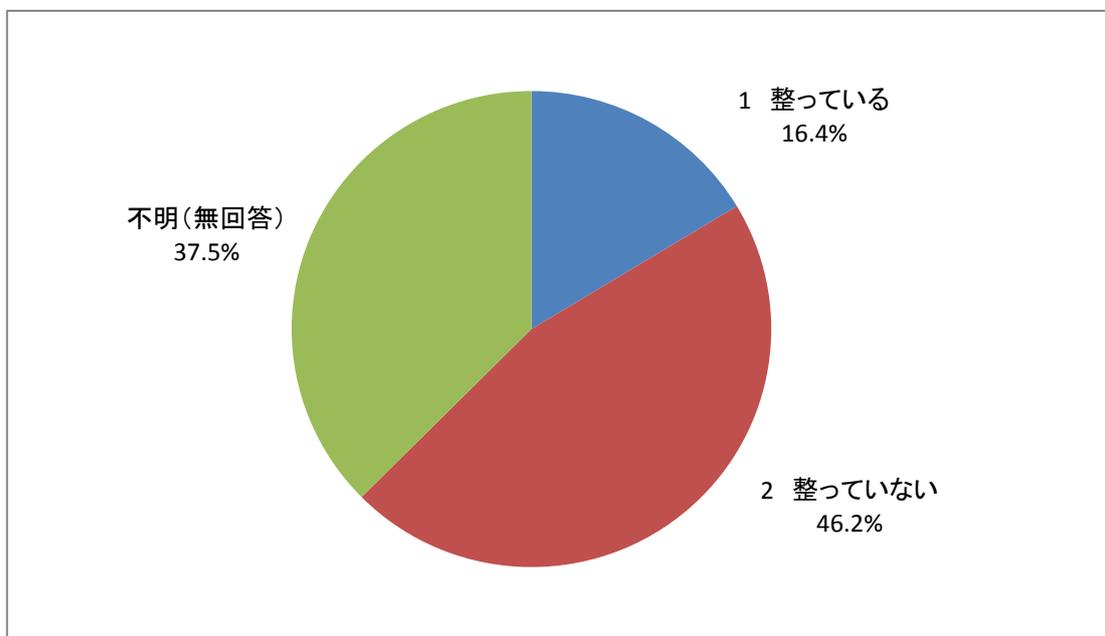
【参考】 年齢別



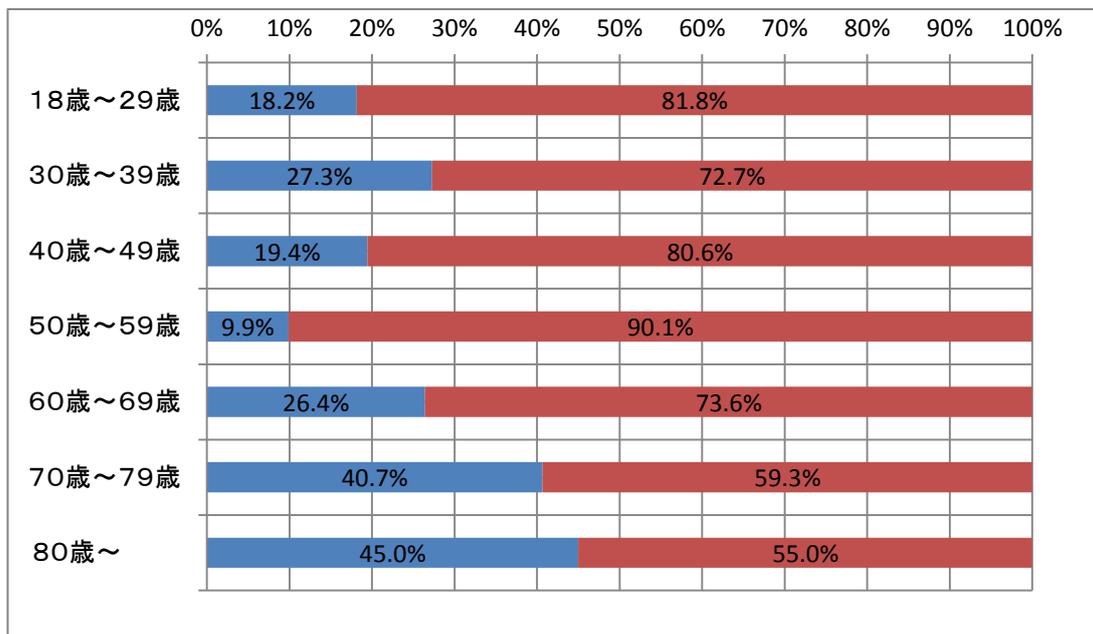
☆「できれば住んでほしい」が24.6%、「住んでほしい」が23.5%と、回答者の約5割の人が、地域内に住むことを希望されています。  
年齢別では、高齢の方ほどその傾向が高くなっています。

問18 洞戸地域は、女性にとって住みやすい環境が整っていますか。

項目	回答数	割合
1 整っている	128	16.4%
2 整っていない	361	46.2%
不明（無回答）	293	37.5%
合計	782	100.0%



【参考】年齢別



☆「整っていない」が46.3%と、住みにくい環境と回答されています。  
 年齢別では、特に「50歳から59歳まで」90.1%、「40歳から49歳まで」80.6%と、中高年の人が、住みにくい環境と回答されています。

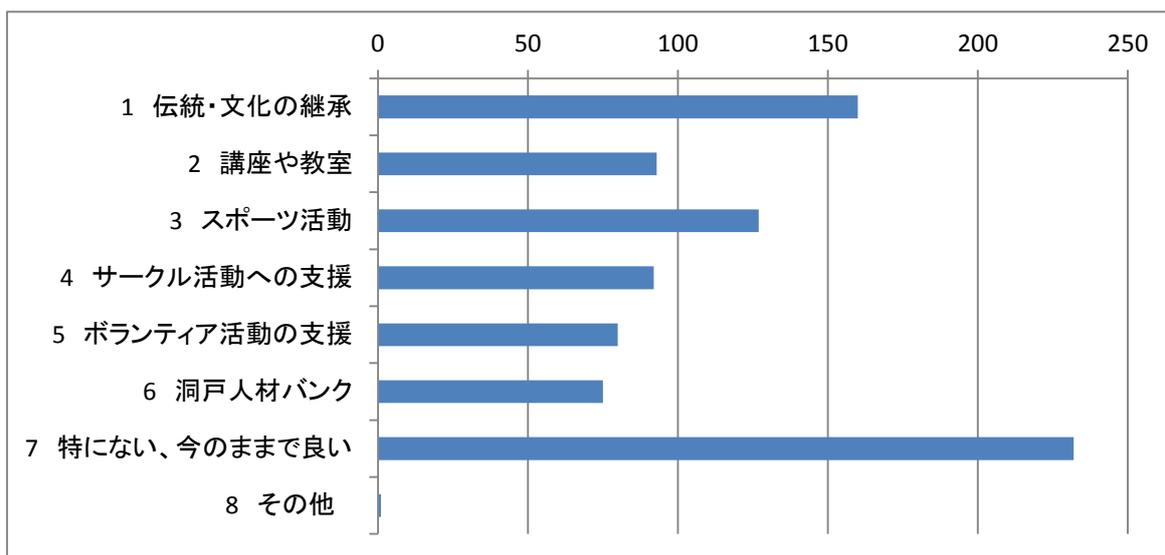
## 文化、スポーツ活動の充実についてお聞きします

問19 文化・スポーツ活動などで、地域で充実させたいことはありますか。

項目	回答数	割合
1 伝統・文化の継承	160	18.6%
2 講座や教室	93	10.8%
3 スポーツ活動	127	14.8%
4 サークル活動への支援	92	10.7%
5 ボランティア活動の支援	80	9.3%
6 洞戸人材バンク	75	8.7%
7 特にない、今のままで良い	232	27.0%
8 その他	1	0.1%
合計	860	100.0%

### 「その他」の主な回答

- ・水泳クラブを作ってほしい。
- ・なんだか、昔の様な隣同士の暖かみがない。
- ・別がない。
- ・未来の洞戸のビジョンを話し合い(若い人も)共有して楽しんで行動する。
- ・私は高齢なのでスポーツの事は何も考えた事はない。
- ・全般的に慈悲が弱いと思っています。など



☆文化・スポーツ活動においては、「特にない」が27.0%と一番多く、次いで、「伝統・文化の伝承」、「スポーツ活動」の順に多くなっています。

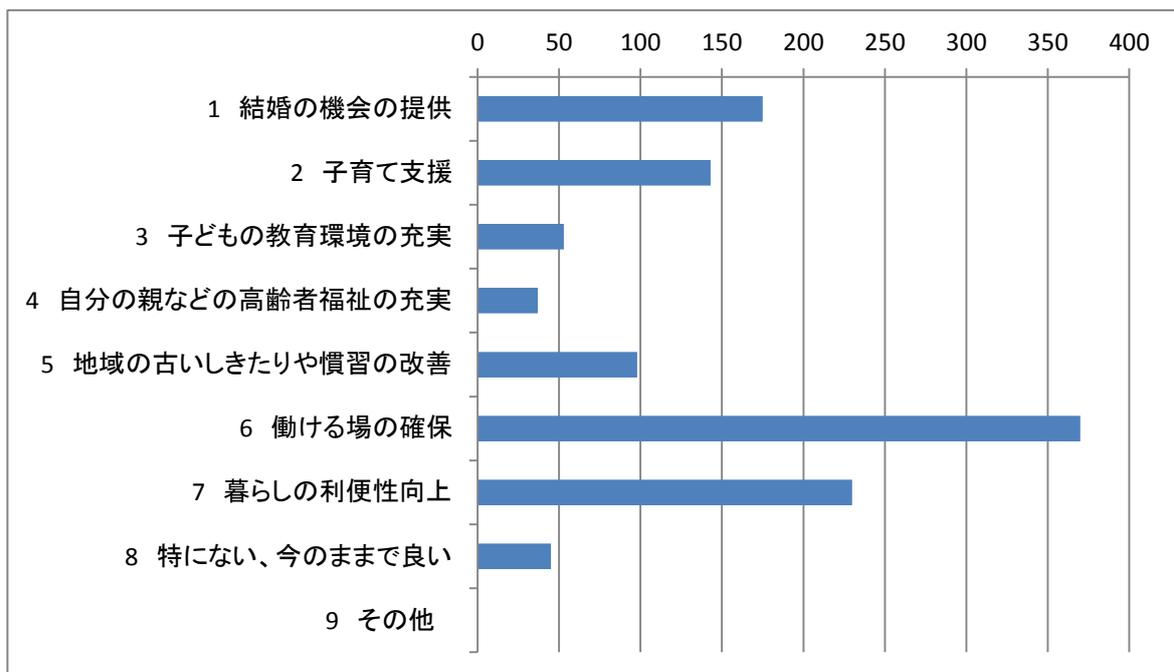
## 若者の定住対策と集落の維持についてお聞きします

問20 あなたは、若者の定住を促進するために、何が重要と思いますか。

項目	回答数	割合
1 結婚（男女の出会いの場）の機会の提供	175	15.2%
2 子育て支援	143	12.4%
3 子どもの教育環境（学校、塾、スポーツクラブなど）	53	4.6%
4 自分の親などの高齢者福祉の充実	37	3.2%
5 地域の古いしきたりや慣習の改善	98	8.5%
6 働ける場の確保	370	32.1%
7 暮らしの利便性向上（住居の確保、買い物や病院に）	230	20.0%
8 特にない、今のままで良い	45	3.9%
9 その他	0	0.0%
合計	1,151	100.0%

「その他」の主な回答

- ・買物ができる店をつくる。
- ・ここにしかない何かしら特別なものがあること。
- ・市場地区の市営住宅が空いている。借料安くしたら。家賃は所得と切り離して一律にしたら。
- ・塾（学習塾）の誘致
- ・冬の除雪など



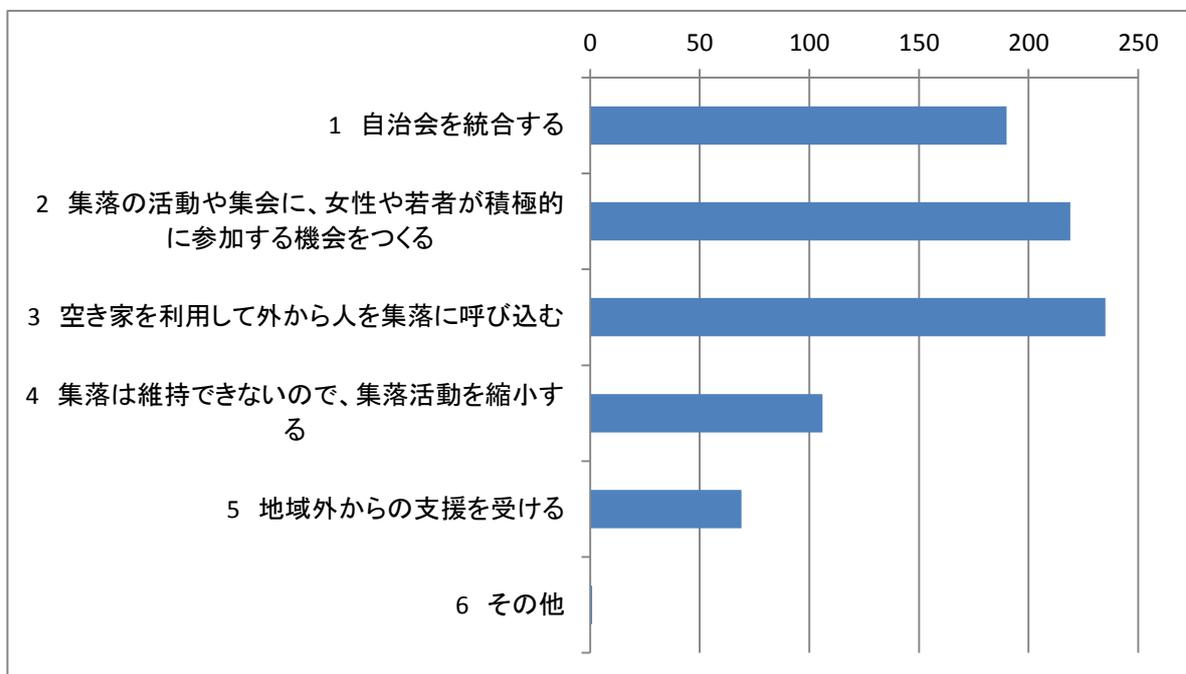
☆若者の定住に必要な要因は、「働ける場の確保」が32.1%と一番多くなっており、暮らしを維持するための収入を確保することが一番必要だと考えられています。  
 ☆「暮らしの利便性向上」が20%、「結婚の機会の提供」が15.2%、「子育て支援」12.4%の順になっており、若者の定住を促進するためには、家庭や暮らしの向上に資する取組みが必要です。

問21 あなたは、現在の集落を維持するには、どうしたらよいと思いますか。

項目	回答数	割合
1 自治会を統合する	190	22.6%
2 集落の活動や集會に、女性や若者が積極的に参加する機会をつくる	219	26.1%
3 空き家を利用して外から人を集落に呼び込む	235	28.0%
4 集落は維持できないので、集落活動を縮小する	106	12.6%
5 地域外からの支援を受ける	69	8.2%
6 その他	20	2.4%
合計	839	100.0%

「その他」の主な回答

- ・企業等の誘致による働く場所の増加。・六次産業育成。・義務の軽減。
- ・害獣のいない環境。・買物が出来る環境を作る。・高齢化の減速:若者の定住。
- ・人口増を図る行政手腕。・道路の整備。・若い人の住宅を作る。
- ・やっぱり働ける場所の確保充実が必要。・ボランティア活動の推進。
- ・子供人数も減ってきているので色々な集落活動を見直してほしい。
- ・特産品などの開発販売の開拓と働く場所作り。など



☆集落を維持していくために必要なことは、「空き家を利用して外から人を集落に呼び込む」が28.7%で一番多く、次いで「集落の活動や集會に、女性や若者が積極的に参加する機会をつくる」が26.7%、と多くなっています。

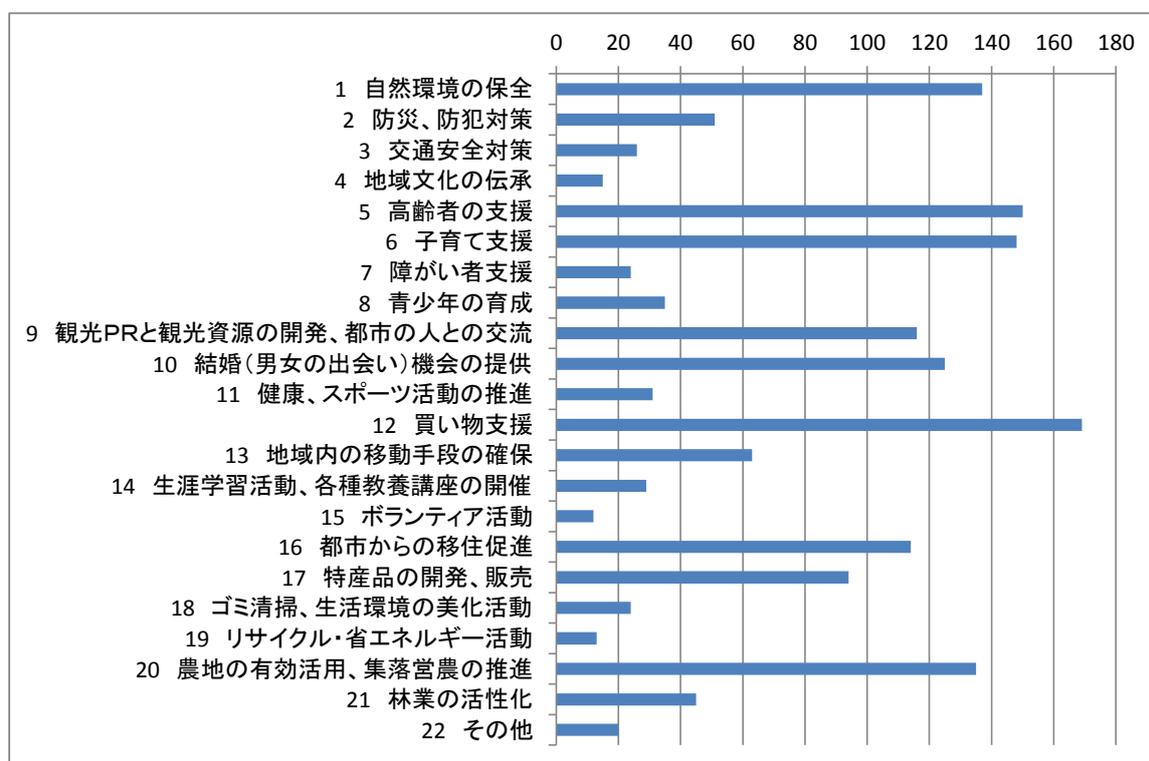
☆集落活動を維持していくには、外部からの力、若者・女性の力を持って維持するしかないと考える人が多くなっています。地域の力を高めるために、新しい活力を洞戸地域へ導入する仕組みづくりが必要となっています。

☆一方では、「自治会を統合する」23.2%、「集落は維持できないので、集落活動を縮小する」12.9%と、限界集落の状況を裏付ける結果が出ています。

## 洞戸地域の活性化についてお聞きします

問22 あなたは、今後、洞戸地域がもっと住みやすくなるために、住民が力を合わせて、どの分野に取り組むべきだと思いますか。

項目	回答数	割合
1 自然環境の保全	137	8.7%
2 防災、防犯対策	51	3.2%
3 交通安全対策	26	1.6%
4 地域文化の伝承	15	1.0%
5 高齢者の支援	150	9.5%
6 子育て支援	148	9.4%
7 障がい者支援	24	1.5%
8 青少年の育成	35	2.2%
9 観光PRと観光資源の開発、都市の人との交流	116	7.4%
10 結婚（男女の出会い）機会の提供	125	7.9%
11 健康、スポーツ活動の推進	31	2.0%
12 買い物支援	169	10.7%
13 地域内の移動手段の確保	63	4.0%
14 生涯学習活動、各種教養講座の開催	29	1.8%
15 ボランティア活動	12	0.8%
16 都市からの移住促進	114	7.2%
17 特産品の開発、販売	94	6.0%
18 ゴミ清掃、生活環境の美化活動	24	1.5%
19 リサイクル・省エネルギー活動	13	0.8%
20 農地の有効活用、集落営農の推進	135	8.6%
21 林業の活性化	45	2.9%
22 その他	20	1.3%
合計	1,576	100.0%



「その他」の主な回答

- ・産業促進。・人口増加。・スーパーがあること。・地域以外の移動手段の確保。
- ・地域外の男女の出会いの企画。・鳥獣の駆除、捕獲。・獣害対策。
- ・農協の廻りに農作物の朝市の様な事をしてほしい。
- ・雇用の増大。

【参考】 地区別にみるあなたがもっと住みやすくなるために、住民が力を合わせて、どの分野に取り組むべきだと思いますか転居したいと思う理由は何ですか

地区別	第1位	第2位	第3位
市場	12 買い物支援	5 高齢者の支援	6 子育て支援
通元寺	6 子育て支援	12 買い物支援	10 結婚（男女の出会い） 機会の提供
片	6 子育て支援	20 農地の有効活用、集落 営農の推進	10 結婚（男女の出会い） 機会の提供
下菅谷	6 子育て支援	12 買い物支援	9 観光PRと観光資源の開 発、都市の人との交流
上菅谷	12 買い物支援	5 高齢者の支援	20 農地の有効活用、集落 営農の推進
小坂	10 結婚（男女の出会い） 機会の提供	12 買い物支援	20 農地の有効活用、集落 営農の推進
大野	12 買い物支援	9 観光PRと観光資源の開 発、都市の人との交流	20 農地の有効活用、集落 営農の推進
黒谷	12 買い物支援	5 高齢者の支援	20 農地の有効活用、集落 営農の推進
栗原	20 農地の有効活用、集落 営農の推進	12 買い物支援	6 子育て支援
飛瀬	12 買い物支援	9 観光PRと観光資源の開 発、都市の人との交流	20 農地の有効活用、集落 営農の推進
尾倉	5 高齢者の支援	6 子育て支援	9 観光PRと観光資源の開 発、都市の人との交流
高賀	1 自然環境の保全	5 高齢者の支援	12 買い物支援
阿部	1 自然環境の保全	12 買い物支援	17 特産品の開発、販売
高見	5 高齢者の支援	12 買い物支援	20 農地の有効活用、集落 営農の推進
小瀬見	12 買い物支援	1 自然環境の保全	17 特産品の開発、販売

【参考】年齢別にみるあなたがもっと住みやすくなるために、住民が力を合わせて、どの分野に取り組むべきだと思いますか。

年齢区分	第1位	第2位	第3位
18～29歳	12 買い物支援	6 子育て支援	9 観光PRと観光資源の開発、都市の人との交流
30～39歳	6 子育て支援	12 買い物支援	5 高齢者の支援
40～49歳	6 子育て支援	12 買い物支援	9 観光PRと観光資源の開発、都市の人との交流
50～59歳	12 買い物支援	6 子育て支援	5 高齢者の支援
60～69歳	12 買い物支援	20 農地の有効活用、集落営農の推進	5 高齢者の支援
70～79歳	12 買い物支援	5 高齢者の支援	1 自然環境の保全
80歳以上	5 高齢者の支援	20 農地の有効活用、集落営農の推進	10 結婚（男女の出会い）機会の提供

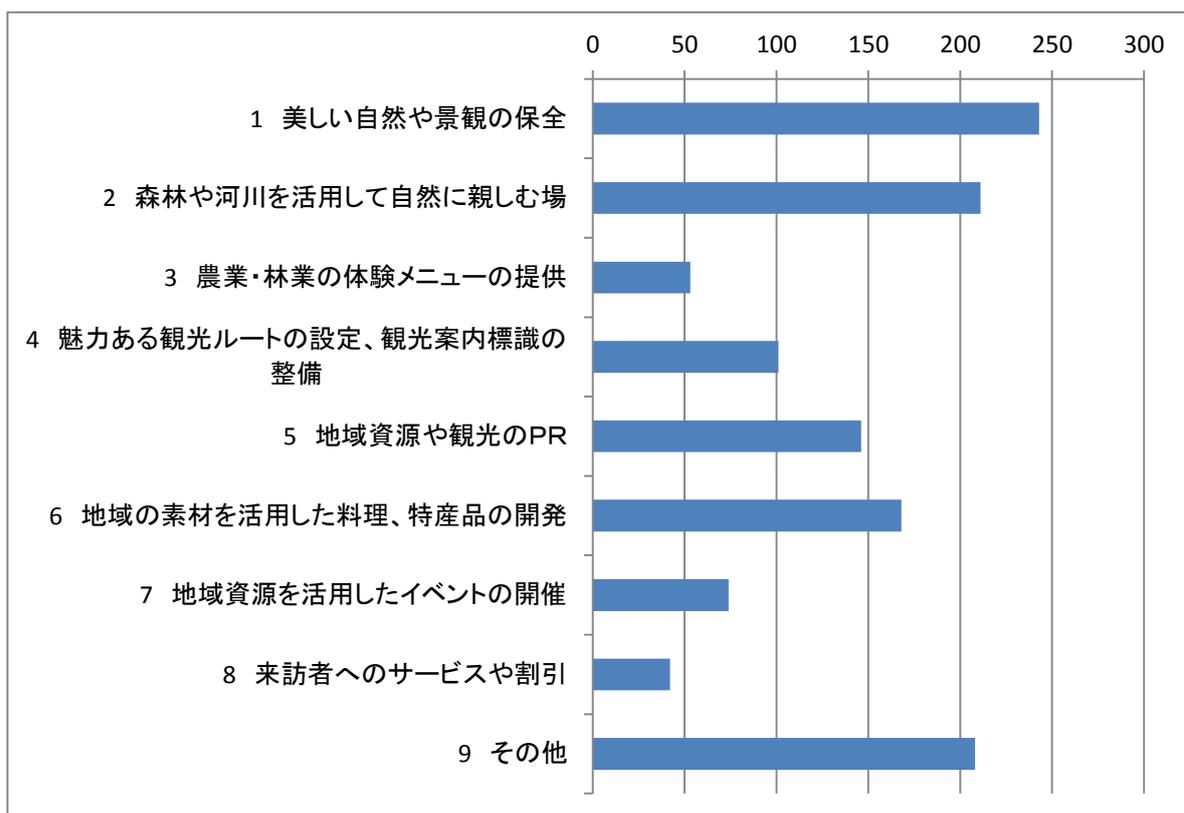
☆洞戸地域がもっと住みやすくなるために、住民が力を合わせて取り組むことは、「買い物支援」10.9%で一番多く、次いで、「高齢者の支援」「子育て支援」の順となっています。  
 今後、洞戸地域のために、買い物支援施策・高齢者や子育てのための福祉施策に住民の力で実施することが必要とされています。  
 また、地域別の状況で、地域が取り組むべきことをみると、「自然環境の保全」、「農地の有効利用」が上位にあることから、洞戸の自然を守り、農地を有効活用することが必要とされています。

問23 あなたは、洞戸地域の観光振興・交流人口を増加させるために、何が必要と思いますか。

項目	回答数	割合
1 美しい自然や景観の保全	243	19.5%
2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	211	16.9%
3 農業・林業の体験メニューの提供	53	4.3%
4 魅力ある観光ルートの設定、観光案内標識の整備	101	8.1%
5 地域資源や観光のPR	146	11.7%
6 地域の素材を活用した料理、特産品の開発	168	13.5%
7 地域資源を活用したイベントの開催	74	5.9%
8 来訪者へのサービスや割引	42	3.4%
9 その他	208	16.7%
合計	1,246	100.0%

「その他」の主な回答

- ・自然を活用する場合、壊すことはしてはいけない。・福祉との連動。
- ・地域性を理解してもらおう。・農地と宿泊施設を提供する。・道路の整備。
- ・郡上方面への道等、無用な事ではあるが、例えば板取から福井県へぬける道路とか。
- ・洞戸温泉をつくろう。・何も無い方がいいでしょう。
- ・自然エネルギーにテーマを絞った地域づくり、研究会の発足。
- ・全部良い事ばかりだが、今の洞戸の力ではなかなか出来ない
- ・洞戸にしかできない文化的価値を使った文化遺産。全国的に打ち出す。など



【参考】 地区別にみるあなたが洞戸地域の観光振興・交流人口を増加させるために、何が必要と思いますか。

地区別	第1位	第2位	第3位
市場	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	6 地域の素材を活用した料理、特産品の開発
通元寺	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	6 地域の素材を活用した料理、特産品の開発
片	1 美しい自然や景観の保全	7 地域資源を活用したイベントの開催	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場
下菅谷	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	4 魅力ある観光ルートの設定、観光案内標識の整備
上菅谷	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	1 美しい自然や景観の保全	4 魅力ある観光ルートの設定、観光案内標識の整備
小坂	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	5 地域資源や観光のPR
大野	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	6 地域の素材を活用した料理、特産品の開発
黒谷	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	3 農業・林業の体験メニューの提供
栗原	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	5 地域資源や観光のPR
飛瀬	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	5 地域資源や観光のPR
尾倉	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	6 地域の素材を活用した料理、特産品の開発
高賀	1 美しい自然や景観の保全	6 地域の素材を活用した料理、特産品の開発	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場
阿部	1 美しい自然や景観の保全	4 魅力ある観光ルートの設定、観光案内標識の整備	6 地域の素材を活用した料理、特産品の開発
高見	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	4 魅力ある観光ルートの設定、観光案内標識の整備	6 地域の素材を活用した料理、特産品の開発
小瀬見	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	4 魅力ある観光ルートの設定、観光案内標識の整備

**【参考】年齢別にみるあなたが洞戸地域の観光振興・交流人口を増加させるために、何が必要と思いますか。**

年齢区分	第1位	第2位	第3位
18～29歳	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	4 魅力ある観光ルートの設定、観光案内標識の整備
30～39歳	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	1 美しい自然や景観の保全	4 魅力ある観光ルートの設定、観光案内標識の整備
40～49歳	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	6 地域の素材を活用した料理、特産品の開発
50～59歳	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	6 地域の素材を活用した料理、特産品の開発
60～69歳	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	6 地域の素材を活用した料理、特産品の開発
70～79歳	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	6 地域の素材を活用した料理、特産品の開発
80歳以上	1 美しい自然や景観の保全	2 森林や河川を活用して自然に親しむ場	6 地域の素材を活用した料理、特産品の開発

☆洞戸の観光振興、交流人口を増加させるためには、「美しい自然や景観の保全」が19.5%と一番多く、次いで、「森林や河川を活用して自然に親しむ場」が16.9%、「地域の素材を活用した料理、特産品の開発」、「地域資源や観光のPR」と続いています。

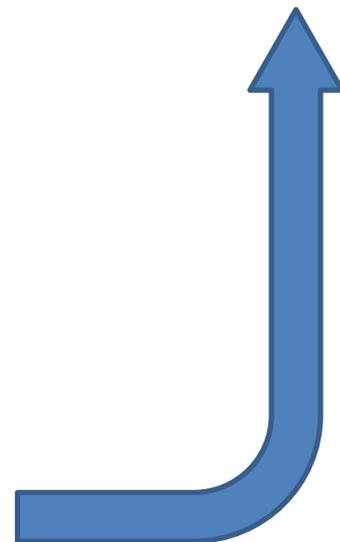
☆交流人口を増やすためには、洞戸の自然を生かすことが大切と考えている方が多いことが分かります。また、郷土の素材を生かす料理や土産品の開発が、観光のPRにつながると考えている方も多いことが分かります。

問24 下記の各項目について、あなたが思う代表的なものを各1つ記入してください。

1 洞戸の宝

回答内容		回答数	割合
自然 関連	板取川	115	29.1%
	自然	102	25.8%
	山	14	3.5%
	森	1	0.3%
	小計	232	58.7%
水 関連	水	32	8.1%
	高賀神水	14	3.5%
	高賀森水	13	3.3%
高賀地区(高賀神社・円空記念館)		18	4.6%
人	子ども	12	3.0%
	気質	8	2.0%
	人	7	1.8%
円空		23	5.8%
キウイフルーツ		6	1.5%
キウイマラソン		5	1.3%
鮎		8	2.0%
歴史		3	0.8%
伝説		2	0.5%
文化		2	0.5%
洞戸観光ヤナ		2	0.5%
その他		8	2.0%
合 計		395	100.0%

その他の回答の内容
田舎
穏やかな時間
休耕農地
しいたけ
風景
福祉センター
分からない



☆洞戸の宝は、「板取川」であると記入した人が、一番多くなっています。「自然」、「水」など回答を合わせると約半数の人が自然に関連したものを宝だと思っていることが分かります。また、「高賀神社」、「高賀山」と次いで多くなっています。

## 2 洞戸の観光資源

回答内容		回答数	割合
自然 関連	川	85	26.4%
	自然	26	8.1%
	山	6	1.9%
	森林	3	0.9%
	滝	1	0.3%
	小計	121	37.6%
水 関連	水	35	10.9%
	高賀神水	16	5.0%
	高賀森水	10	3.1%
	小計	61	18.9%
高賀地区(高賀神社・円空記念館)		38	11.8%
鮎		27	8.4%
円空		6	1.9%
キウイフルーツ		15	4.7%
建物(梅泉寺・興徳寺)		2	0.6%
洞戸観光ヤナ		26	8.1%
文化		2	0.6%
歴史		5	1.6%
鉱山		2	0.6%
その他		17	5.3%
合 計		322	100.0%

その他の回答の内容
いなかでの見る所を説明する。
里山
猿
猿虎蛇の民話
山岳信仰の復活
山菜・鮎
しいたけ
田んぼ
チャラチャラした観光は不要
どう山の開発、四季を通した名所に
林産物の活用
洞戸の観光の宣伝
マラソン
道の駅
板取川漁協
空気
人

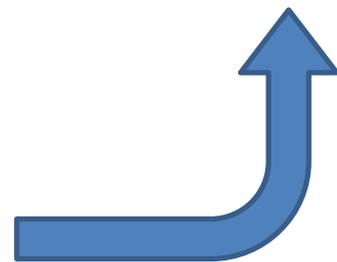


☆ 洞戸の観光資源は、「板取川」が一番多く、次いで、「高賀神水・高賀森水」、「高賀山」「鮎」「板取川洞戸観光ヤナ」と回答されています。  
これらの貴重な地域資源の価値を再確認して、外から人を呼び込む仕組みや地域の人々がみんなですべて地域資源を大切にする取組みが必要となってきます。

### 3 おすすめの景観スポット

回答内容	回答数	割合
板取川	41	18.1%
板取川の飛瀬淵	1	0.4%
板取川の大松	1	0.4%
春の板取川 大野前	1	0.4%
板取川のヤナ	4	1.8%
岩門の滝	6	2.7%
高賀溪谷	45	19.9%
春の芽吹きころの高賀溪谷	1	0.4%
秋の紅葉ころの高賀溪谷	1	0.4%
高賀山	44	19.5%
自然	2	0.9%
山	2	0.9%
高賀地域	21	9.3%
高賀神社	35	15.5%
円空記念館	3	1.3%
ラステン洞戸 道の駅	1	0.4%
神水庵	1	0.4%
鮎	3	1.3%
その他	13	5.8%
	226	100.0%

その他の回答の内容
小瀬見橋の景観。
大野の高い所からのみはらし
大野発電所付近の山
金比羅山
黒谷岩門のり瀧山上から見る夕方の景色
紅葉
ドウヤマ
なし
春の桜が咲いた時の信号近く場所
人により違う(季節により違う)
不明
星とり山
ラステンより見る景色

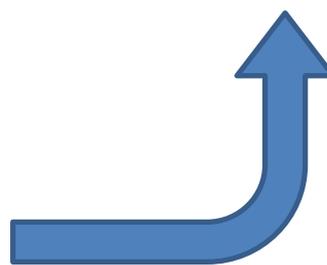


☆ 洞戸の景観スポットは、「高賀山」「高賀溪谷」「高賀神社」「高賀地域」と多くの方が高賀地域全体の景観を大切に思っている方が多いことがわかります。

#### 4 おすすめの食べ物

回答内容		回答数	割合
キウイ関連	キウイフルーツ	140	41.9%
	キウイシャーベット	5	1.5%
	キウイジャム	1	0.3%
	キウイを使用した食べ物	1	0.3%
	小計	147	44.0%
鮎関連	鮎	105	31.4%
	鮎料理	11	3.3%
	鮎雑炊	4	1.2%
	鮎釜飯	3	0.9%
	鮎の塩焼き	2	0.6%
	鮎の骨酒	2	0.6%
	鮎の里のからあげ	1	0.3%
	洞戸観光やなの鮎料理	1	0.3%
	小計	129	38.6%
みそ	6	1.8%	
芋もち	5	1.5%	
魚	4	1.2%	
手羽先、鳥兵の手羽先	4	1.2%	
米	3	0.9%	
なす	3	0.9%	
ブルーベリー	3	0.9%	
しいたけ	2	0.6%	
岩門のラーメン	2	0.6%	
野菜	2	0.6%	
高賀神水	2	0.6%	
高賀の水	2	0.6%	
その他	20	6.0%	
合計	334	100.0%	

その他の回答の内容
あじめ
川
自家製こんにやく
キウイぼうやのPR
里いも
観光ヤナ
山菜(むかご、しいたけ)
けんちん汁
スイカ
そば
茶がゆ
特になし
農産物
ハム
ぶとう
不明
洞戸で作った農作物すべて
イノシシ肉
肉
高賀森水
水

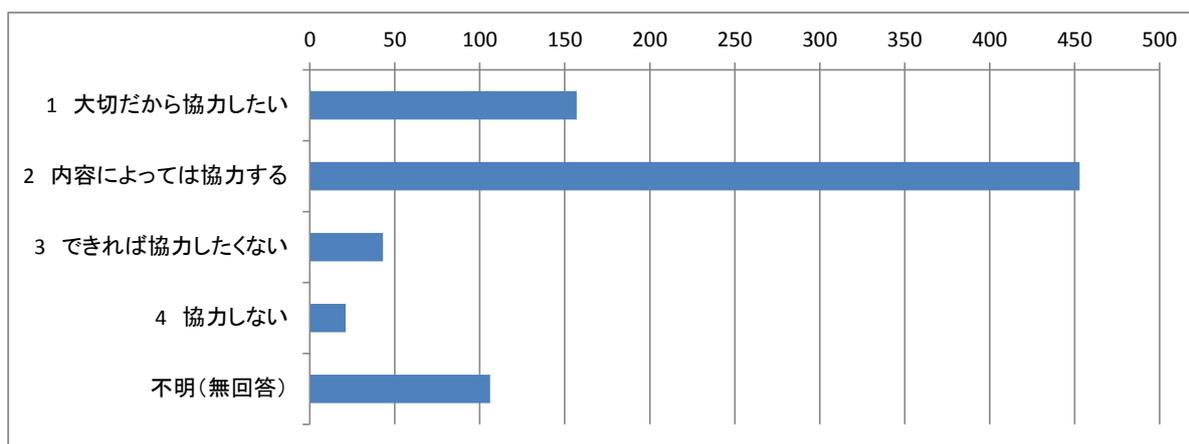


☆ 洞戸のおすすめの食べ物は、「キウイフルーツ」と「鮎」が圧倒的におすすめの食べ物と  
 思っている方が多いことが分かります。今後、食のイベントで「板取川の鮎」を生かす取組み  
 が必要です。

## 地域のみんで進めるまちづくりについてお聞きします

問25 あなたは今後、地域のみんで進めるまちづくりに協力しますか。

項目	回答数	割合
1 大切だから協力したい	157	20.1%
2 内容によっては協力する	453	57.9%
3 できれば協力したくない	43	5.5%
4 協力しない	21	2.7%
不明（無回答）	108	13.8%
合計	782	100.0%



### 年齢別×地域貢献意識

年齢区分	1 大切だから協力したい		2 内容によっては協力する		3 できれば協力したくない		4 協力しない		不明（無回答）	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
18歳から29歳まで	7	12%	38	67%	4	7%	4	7%	4	7%
30歳から39歳まで	12	17%	50	72%	3	4%	1	1%	3	4%
40歳から49歳まで	11	12%	61	66%	8	9%	5	5%	7	8%
50歳から59歳まで	26	20%	93	73%	3	2%	0	0%	6	5%
60歳から69歳まで	31	19%	104	64%	7	4%	2	1%	18	11%
70歳から79歳まで	33	26%	67	54%	7	6%	2	2%	16	13%
80歳以上	35	31%	36	32%	11	10%	3	3%	27	24%
年齢不明	2	5%	4	11%			0		27	73%

☆地域への協力の意識は、「内容によっては協力する」が58.1%で一番多く、次いで、「大切だから協力したい」が、20.18%となっています。この2つの選択肢を合わせると78.2%になり地域のみんで進めるまちづくりの大切さや活動に参加することへの理解が、洞戸の住民全体にあることが分かります。

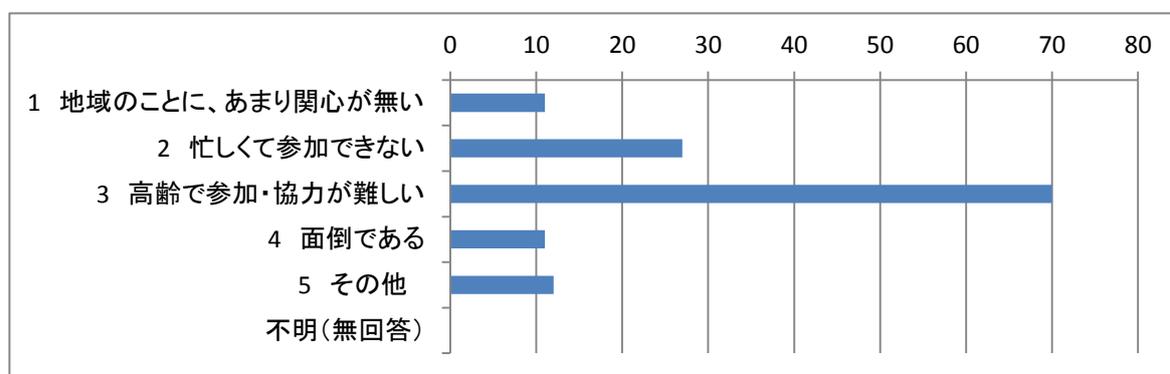
☆年齢別の地域貢献意識の状況は、年齢が高くなるほど地域のみんで進めるまちづくりを大切だと感じ、活動への参加の意思を示しています。「できれば協力したくない」、「協力しない」の回答は全年齢を通じて相対的に低く、洞戸の地域に対する住民意識の高さを示しています。

問26 問25で「3」、「4」を選ばれた方にお尋ねします。地域のみんなで進めるまちづくりに協力したくない、協力しないのはなぜですか。

項目	回答数	割合
1 地域のことに、あまり関心が無い	11	8.4%
2 忙しくて参加できない	27	20.6%
3 高齢で参加・協力が難しい	70	53.4%
4 面倒である	11	8.4%
5 その他	12	9.2%
不明（無回答）	0	0.0%
合計	131	100.0%

「その他」の主な回答

- ・参加しただけの魅力なし。
- ・洞戸を去るから。
- ・リーダーの資質、リーダーに見合う人材がない。
- ・87歳になり病気がちなので残念ながら×
- ・まちづくり委員会の意味が無い。辞めるべき。など



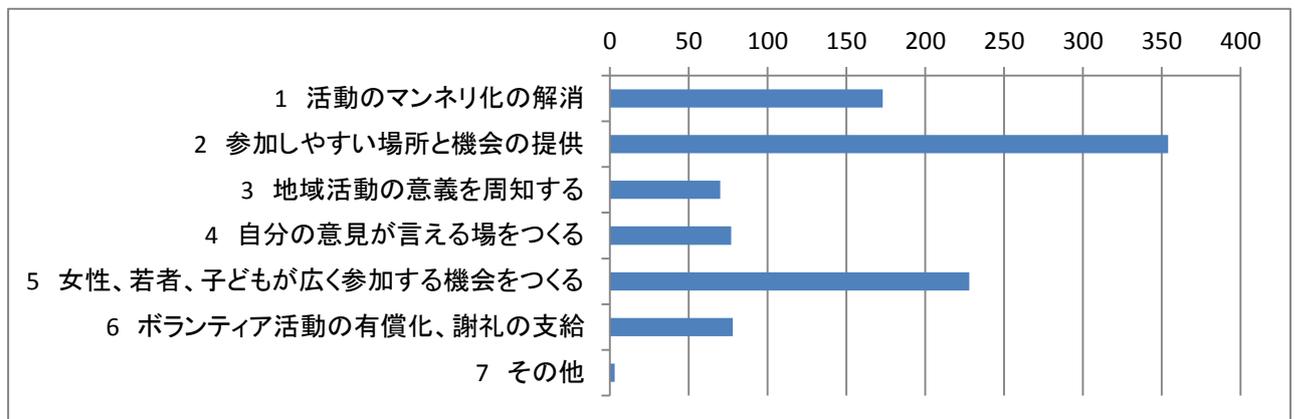
☆地域の活動に協力できない理由は、「高齢で参加・協力が難しい」が53.4%で一番多く、次いで、「忙しくて参加できない」20.4%となっています

問27 今後、地域のみんで進めるまちづくりに、多くの人に参加するためには、どのようにしたらよいと思いますか。

項目	回答数	割合
1 活動のマナー化の解消	173	17.6%
2 参加しやすい場所と機会の提供	354	36.0%
3 地域活動の意義を周知する	70	7.1%
4 自分の意見が言える場をつくる	77	7.8%
5 女性、若者、子どもが広く参加する機会をつくる	228	23.2%
6 ボランティア活動の有償化、謝礼の支給	78	7.9%
7 その他	3	0.3%
合計	983	100.0%

「その他」の主な回答

- ・打ち上げ花火的イベントは不要で、全国から目を向ける文化教養人に対応できる人材の育成。
- ・差別をなくす。
- ・組織のある団体が参加。団体の声を反映、まちづくりに活用。
- ・正しい理念を持ったリーダーを選ぶ。
- ・ディスカッション出来る場を。自由の発信できる環境づくりが大切。
- ・より具体的に目的、手法についての理解と周知を図る。
- ・健康第一、正義。
- ・美しい自然を整備・PR。イベント以外でも人が来たくするようにする。
- ・外部からの刺激が必要。
- ・亀の甲より年の功、お年寄りにまちづくりに参加してもらおう。若い人でも頑張ろうとするだろうし（お年寄りにまげられない）コミュニケーションで文化の伝承、慣習の伝承にもつながると思う。（子供は大人の姿を見て育つ）
- ・何をするにも有力者。こちらの意見を軽視される（人をたたき、意見が合わなければ相手にされない、差別する。自分達だけだという考えをやめて、多くの人達がいるから自分達もという考えになってほしい。） など



☆今後、多くの人々が地域活動に参加できるようにするためには、「参加しやすい場所と機会の提供」が36.0%と一番多く、次いで、「女性、若者、子どもが広く参加する機会をつくる」が23.2%となっています。

☆「ボランティア活動の有償化、謝礼の支給」を望む回答も7.9%ありました。

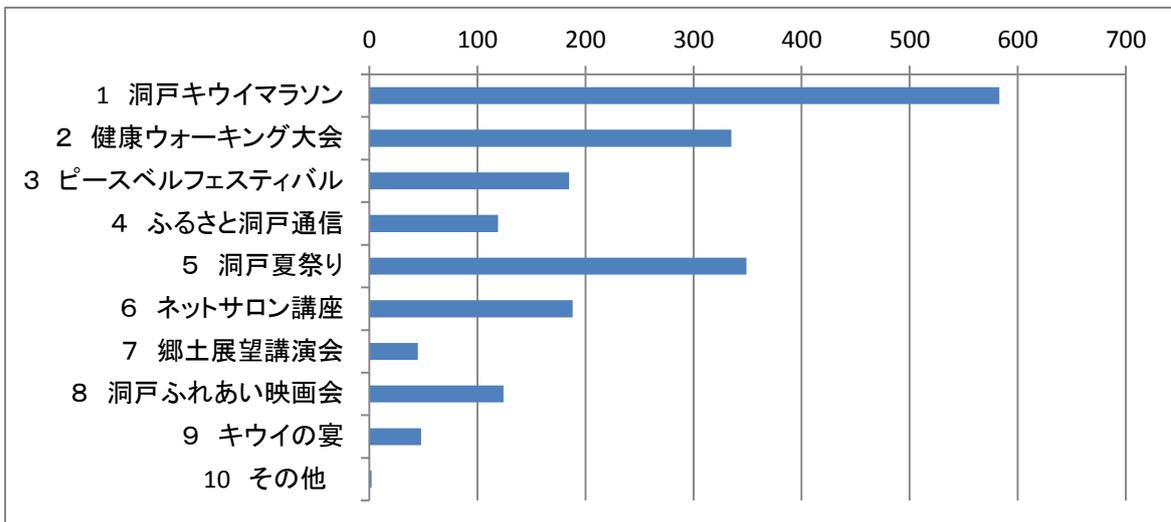
☆問26では7割以上の人々が地域活動に参加してもよいと回答しており、今後、地域のみん々が参加しやすく、気軽に集まれる機会を持つことが重要となります。また、子ども、女性、若者の参加を促し、地域内全ての人で地域を支えることが大切になってきます。

問28 現在洞戸地域で行われているイベント等で、参加したことがある、知っているイベント等に○印を付けてください。

項目	回答数	割合
1 洞戸キウイマラソン	583	29.5%
2 健康ウォーキング大会	335	16.9%
3 ピースベルフェスティバル	185	9.4%
4 ふるさと洞戸通信	119	6.0%
5 洞戸夏祭り	349	17.6%
6 ネットサロン講座	188	9.5%
7 郷土展望講演会	45	2.3%
8 洞戸ふれあい映画会	124	6.3%
9 キウイの宴	48	2.4%
10 その他	2	0.1%
合計	1,978	100.0%

「その他」の主な回答

- ・産業祭。・ソフトボール大会。・通元寺提灯祭り。・ボランティア全部。
- ・聞いたことがありますが、参加したことはありません。など



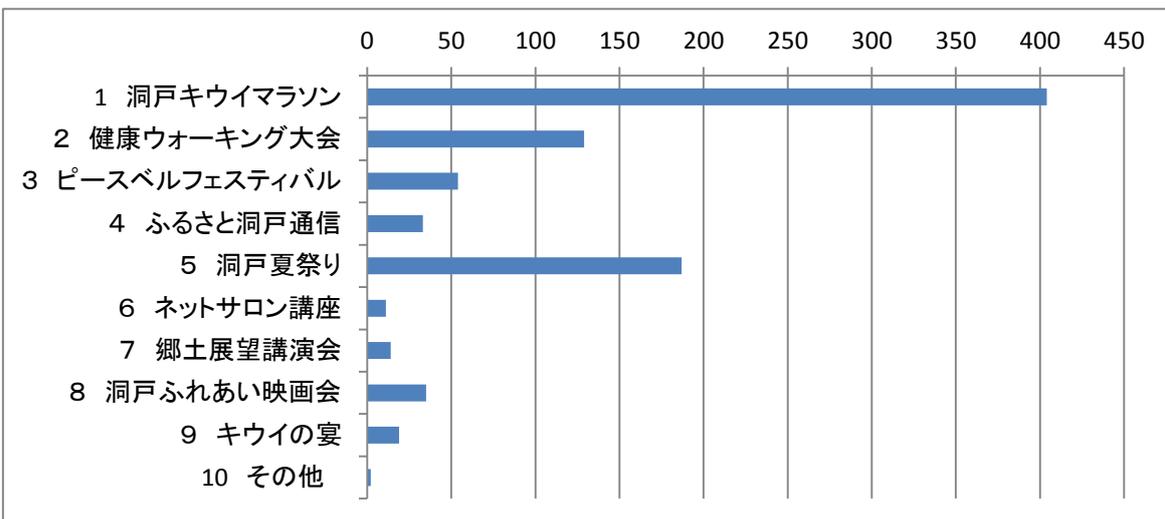
☆現在洞戸地域で行われているイベントで、知っている・参加したことがあるイベントは、「キウイマラソン」が29.5%と一番多く、次いで、「洞戸夏祭り」、「健康ウォーキング大会」の順になっています。

問29 現在洞戸地域で行われているイベント等の中で今後も盛り上げていきたいことはどれですか。

項目	回答数	割合
1 洞戸キウイマラソン	404	45.5%
2 健康ウォーキング大会	129	14.5%
3 ピースベルフェスティバル	54	6.1%
4 ふるさと洞戸通信	33	3.7%
5 洞戸夏祭り	187	21.1%
6 ネットサロン講座	11	1.2%
7 郷土展望講演会	14	1.6%
8 洞戸ふれあい映画会	35	3.9%
9 キウイの宴	19	2.1%
10 その他	2	0.2%
合計	888	100.0%

「その他」の主な回答

- ・文化祭、花火。
- ・通元寺提灯祭り。
- ・ボランティア。など



☆今後も盛り上げて生きたいイベントでは、「キウイマラソン」が45.5%と一番多く、次いで、「洞戸夏祭り」、「健康ウォーキング大会」の順になっています。

☆その他の意見として、地域内の企業とコラボしたイベントの提案や、イベントのマンネリ化を心配する意見等がありました。